

中学生・高校生の社会認識について

—— 社会認識調査報告（その4） ——

筑波大学附属駒場中・高等学校社会科

岡本 忠篤，小沢富士男
城戸 一夫，小林 汎
坂根 義久，林 幹一郎
増渕 徹

中学生・高校生の社会認識について

——社会認識調査報告（その4）——

岡本 忠篤, 小沢富士男
城戸 一夫, 小村 汎
坂根 義久, 林 幹一郎
増渕 徹,

1. 調査のねらいと経過
2. 今回の調査の概要
3. 分析と考察に先立って
4. 設問及び回答の集計結果
5. 分析と考察

1. 調査のねらいと経過

社会科の共同研究として、この社会認識調査を実施して今回は第4回目である。第1回目は78年度に予備調査として、本校の中学生・高校生の6学年を対象に実施した。その結果は「研究報告 第18集」（1979年3月）に報告した。また第2回目の本調査は翌年の79年度に、予備調査同様、本校生徒6学年を対象に実施し、その結果は「研究報告 第19集」（1980年3月）に報告した。

第3回目は本校生徒だけでなく他校の協力を得て実施し、その結果は「研究報告 第21集」（1982年3月）に報告した。しかし、昨年分の調査は、実施時期の関係で高校3年生が除かれている事、協力校の調査対象数が限られている事などの問題があった。さらに、設問内容の難易度、設問項目数等においても検討すべき点が出てきた。そこでこれらの点に再検討を加え、本格的に実施したのが今回の調査である。

この3回の社会認識調査の狙いは、第1は、中等教育における社会科の学習を通して「社会認識」がどのように形成され、変化するのか、中高6年間の変化から類推していくことであり、さらに、そこから「社会認識」の形成・発達と教科としての社会科の関わりを明らかにすることであった。第2は「現代社会」を導入するにあたって、中等教育の前期と後期との結節点としての「現代社会」に何を期待すべきかを考えるための基礎データとして、中高生の意識の実態をつかむ必要があると考えたからである。

なお、「社会認識」とは何かの定義づけは、十分に出来ているとはいいがたいが、一応、社会事象に関心を持ち、それらの中から本質をつかみとる、即ち法則的に捉える能力であり、主権者としてより良い社会を実現していく力となりうるものであると考えた。この「社会認識」の深まりの程度を認識の発展段階において一応段階に区切ると、第1に、事実を正しく見ているか、即ち

事実認識がしっかり出来ているか、これが基本としてあろう。第2に、ある事柄をどの様に見ているのか、考えているのか、即ち、物の見方、考え方の問題があろう。第3にそれらの事柄について、本当にその様な見方、考え方で良いのかを疑問に感じ、より深く見ようとし、考えようとする能動的働きがあるか、が必要となろう。さらに第4に、そこに自分をどのように関わらせようとしているのか、主体的な生き方の問題があろう。こうした「社会認識」の深まりが、具体的事象を通してどう表われているか、また関連し合っているのか調査しようとしている。

参考までに過去3回の調査結果のまとめを掲げておく。

第1回目、第2回目のまとめとしては次の6点があげられている。

- (1) 78年度と79年度の調査によって、学年進行にともなう社会認識の深まりを確認することは困難である。歴史認識、地理的認識、人権意識、経済民主主義の観点などにおいて、社会認識の一定的部分的な深まりを読みとることはできたが、期待する水準からみればまだ不十分である。さらに、平和主義、政治的民主主義、文化などでは、社会認識の深まりを確認するにいたっていない。
学年進行とともに、事実認識が深まることは確かめられるが、考え方の面からみた社会認識が発展しているとはいいがたい。
- (2) 本校社会科では、実践的態度を知識・理解とともに、社会認識の一側面とみなしているが、この面からみても、学年進行にともなう発展を確認することができなかった。
- (3) 両側面からみた社会認識が、なぜ発展していると確認できないのか。また、学年の個性がかなり強く、とくに中と高とで、社会認識の相対的な高さをみせているが、なぜなのか。こうした問題は、授業実践とくりはなしたアンケート調査だけで解くことはむずかしい。
- (4) 次年度以降、社会認識向上のための授業実践と実践研究が必要である。また、調査結果を取り入れたカリキュラムが必要である。
- (5) 次年度は、社会認識調査を続けると同時に、社会認識育成のためのカリキュラムを「現代社会」を中心に検討していく必要がある。
- (6) 第1年度・第2年度は本校生徒だけを調査の対象としたが、次年度以降、他校との協同調査が必要である。

第3回目のまとめとしては次の10点があげられている。

- (1) 前年度の課題の一つであった他校との協同調査を初めて実施した。調査対象校種、調査対象人数、実施学年等で一定の限界はあるが、本校だけで実施している場合と違った角度で検討が出来た。
多くの調査項目において本校と他校で同じ様な傾向が見られ、男女の差も顕著ではなかった。
しかし、一部の項目において、本校生徒の特殊性、生徒の層の違いが社会認識の差となって表われているものがあつた。また、本校中学生の傾向と協力校の高校との傾向が似ている個所が見られた。
- (2) 設問の文意を読みとる事が出来ないので、教師が解説しなければならない。設問そのものが難しすぎるという指摘が協力校の中学からあつた。また、中学生には、設問数(50項目)も50分の調査時間では多すぎるとの指摘もされた。
前回よりも設問に具体性を持たせ、易しくする試みをしたが十分ではなかった。
- (3) 設問の具体化は、一定程度“タテマエ”の回答から“ホンネ”の回答へと近づけた。しかし、一方具体化によって、こちらが意図する設問作成が難しくなったことと、具体例の出し方によっては回答が大きく変りうる要素が強くなったのではない。
- (4) 前年度も指摘されたが、学年進行による変化があまり見られない。特に物の見方、考え方の面から見た社会認識の深まり、発展は弱い。

それは、社会科教育の果すべき役割の相対的地位の低下を意味するであろう。しかし、この事は単に教師サイドの問題だけでなく、生徒の社会に対する関わり方の変化も大きい要因となっているよう。

(5) 社会認識の一側面として、知識・理解と共に実践的態度を考えているが、生徒の主体的な生き方の弱さというものは、実践的態度の面で近年、益々弱くなるようである。

(6) 社会認識が深まり、発展をしないが為に、本来矛盾している事が、矛盾が矛盾として認識されず、意識が分裂されたままの状態が見られる。

(7) 生徒の社会認識の形成とマスコミなどの情報とは密接に結びついており、低学年ほどその影響をストレートに受けている。情報化社会の中で、その傾向は強まってくるようだ。

(8) しかし、身近な生活に密着した問題においては、健全な感覚を持っている。

また、平和意識についても、マスコミ等の影響を受けつつも、健全と言えるよう。

(9) 前年度からの課題である、「現代社会」、あるいは社会科全体のカリキュラムにこの調査をどう位置づけ、反映させていくかの検討はまだ出来ていない。個々の担当者にまかされているのが現状である。

(10) 次回には以上の事をふまえて、他校との協力関係を強め、総合的検討の上に、実施する必要があるだろう。

2. 今回の調査の概要

・調査項目は、項目、マークシート方式を採用し、十肢択一で行った。

・調査時期 1982年9月～10月

・調査対象 中学生1563名（内女子653名）

中・1 527名（本校生120名）

中・2 517名（ " 117名）

中・3 519名（ " 118名）

高校生1727名（内女子770名）

高・1 587名（本校生159名）

高・2 561名（ " 143名）

高・3 579名（ " 149名）

協力校：中学校は千代田区立今川中学校、足立区立入谷中学校、立川市立第九中学校、私立森村学園中学校、私立吉祥女子中学校、栃木県・河内町立南河内中学校、以上6校。

高校は、お茶の水女子大学附属高等学校、都立広尾高等学校、都立北豊島工業高等学校、都立第四商業高等学校、私立十文字女子高等学校、栃木県立今市高等学校、長野県立阿知高等学校、以上の7校。

今回の調査では、規模を広げ、より詳細に、より確かに、現状における生徒の社会意識の実態を把握する事を目的とした。この調査に協力してくれた多数の学校関係者諸氏に、深く感謝の念を表するものである。今回の調査では、試行調査の性格が強かった前回までと違い、かなり緻密に傾向と分析を提示できたと思う。関連項目についてはクロス集計がなされており、その面からも、興味深い事実を見い出すことができる。若干のものを除き、内容的にも生徒の本音を引き出すように苦心した。また内容が難しいのではという指摘を受け、中学生向き、高校生向きに、別々の仕方で設問を作るなど工夫をこらしてみた。

なお調査内容は、大きく四つの分野に分かれている。〔1〕～〔16〕までは社会認識の根幹をな

す面を、〔18〕～〔23〕までは歴史認識の面を、〔24〕～〔31〕までは地理認識の面を、〔32〕～〔41〕までは公民・政経認識の面を、それぞれ尋ねる設定となっている。これらの各分野から得られた資料を通し、社会科教育における課題を明らかにしていきたいと思う。

3. 分析と考察に先立って

社会科教育が社会認識形成の上で何をなしえるのか、困難ではあるが、その問いかけに私達は答えていかなければならない。

生徒の社会認識の形成に、マスコミが大きな影響を与えているのは否めない。情報化社会の中でその傾向は一層強まっている。社会を支えた価値感が少しずつ変質し、かつて虚像であったものが、マスメディアを通して増幅され、私達の心の中に入り込み、いつの間にか実像と化している。

この事を裏打ちするかのように、現在、いかなる社会を求め、その社会建設へ各自がいかに努めていくのかという目的意識が、社会科教育の内側で色褪せている。そして生徒の意識から、理想とすべき社会像が消え、現状を肯定するだけの後退した物の見方だけが伺われる。彼等にとって、社会科は知識の断片を与えてくれるもののようである。彼等の視野は個人的生活という枠組以上に拡がろうとしない。このような態度が設問に答えるさいの一般的なベースとなっている。彼等の答えに時として分裂傾向が見られるのはそのためである。当然そうであるべき理念が彼等の心の内に根づいていない。彼等の依って立つ場所が不確定であるために、一貫して対象を把握しえない。つまり理論的構成が発達しえず、未分化のままなのである。

このような状況下で、はたして社会科教育のはたす役割がありうるのか。まさにこのような現状だからこそ、社会科教育の果す役割は大きいと言える。生存という基盤に立って、私達は新たな方向を示していかなければならない。

ここでなされた社会認識調査は、言ってしまうと、生徒個々の内側で形成されつつある社会像あるいは人間像を捉えることによって、彼等の心の内を理解し、教育の場に生かしていく。つまり、教育目標達成の目安であるばかりか、社会科教育の地平を切り拓いていく上での有効な手段なのである。

教育の荒廃が叫ばれている現在、幸いにして私達の学校では、聞き伝えられるような暴力は見られない。しかし、生徒の意識の内側を覗いてみれば、錯綜した感情のうねりを認めるのは容易である。彼等に一条の光を投げかけるうえからも、この調査で得られた結果を、教育の場につなげていく。私達に一つの大きな課題が与えられたように思う。

以下、集計結果の一覧及び各設問ごとの分析と考察を行うが、調査結果から見られる中・高校生の社会認識の総合的分析及び社会科教育の内容の再検討等の問題は今後さらに検討を加えていく課題としたい。

4. 設問及び回答の集計結果

4. 設問及び回答の集計結果

(注 数値は小数点以下四捨五入のため、必ずしも100%とはなっていない。)

〔1〕 あなたにとって社会科を学習するもっとも大きな理由は何ですか。あなたの考えにもっとも近いものをつぎの中から一つ選んで下さい。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 受験のため。 | 5. 社会について深く理解するため。 |
| 2. 社会科を学ぶことになっているから。 | 6. ぐらしよい社会をつくるため。 |
| 3. 興味・関心があるから。 | 7. その他。 |
| 4. 教養を身につけるため。 | 8. 考えたことがない。 |

No.1

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	2	8	15	14	27	10	—	22			3
	中 2 (M ₁₁₇)	3	5	16	11	29	16	4	15			1
	中 3 (M ₁₁₈)	12	10	14	14	26	6	6	13			—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		9	17	17	14	23	4	4	11			0
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		11	25	8	8	21	8	0	18			3
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		12	21	8	12	17	6	4	20			1
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		2	20	6	16	29	9	3	14			0
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		2	27	8	20	22	3	4	14			1
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		9	23	5	10	22	5	4	22			—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	2	22	6	13	23	11	3	19			1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	11	22	9	11	23	3	4	15			2
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	9	21	12	14	22	4	2	15			0
	男 (555)	7	18	13	12	21	6	3	18			1
	女 (653)	8	24	5	13	24	6	3	15			1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		7	18	10	13	24	7	3	16			1

平成27年度 学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業
学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業

学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業
学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業
学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業
学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業
学力向上推進事業 学力向上推進事業 学力向上推進事業

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	8	16	10	13	23	9	6	15			—
	高 2 (M 143)	11	18	17	15	20	2	7	8			1
	高 3 (M 149)	19	9	16	9	32	4	7	3			1
G 高 (F 130)		8	16	21	16	20	2	1	15			1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		3	21	12	17	21	2	5	19			1
I 高 (M 113)		—	24	12	16	18	5	6	19			—
J 高 (F 128)		1	32	5	10	27	5	1	20			—
K 高 (F 149)		1	30	9	17	15	1	3	23			1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		14	26	8	18	11	1	4	19			—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		1	33	3	22	20	4	2	15			0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	4	28	8	15	22	3	3	17			1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	2	28	0	17	13	3	4	23			1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	7	23	9	21	20	2	2	14			0
	男 (506)	7	24	9	18	17	3	5	17			0
	女 (770)	3	28	9	17	19	2	2	19			0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		7	23	11	16	20	3	4	16			1

〔2〕 あなたは、現在の大人たちが、どのような生き方をしていると思いますか。
つぎの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しんでいる。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で自分の生活を楽しんでいる。
3. 世の中のことはなりゆきにしたがって、その日を平穩にすごしている。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力している。
5. いまの社会を大切にして、それを守ることに努めている。
6. 社会とのかかわりをなるべくさけ、ひたすら修業にはげんでいる。
7. その他。
8. 考えたことがない。

No.2

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	1	21	40	8	6	—	8	14			3
	中 2 (M 117)	8	21	41	6	6	2	7	9			—
	中 3 (M 118)	6	30	42	6	4	2	6	4			—
A 中	(M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)	11	13	30	12	7	4	9	13			2
B 中	(M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)	11	15	29	5	10	1	5	23			2
C 中	(M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)	12	16	27	6	3	3	13	20			—
D 中	(M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)	9	14	30	8	6	1	12	19			0
E 中	(F ¹²⁰ ₁₂₀)	5	16	33	13	9	—	8	6			1
F 中	(M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)	4	23	20	10	7	3	11	23			0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	9	14	24	9	8	3	10	22			1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	9	16	25	12	8	1	1	18			1
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	8	19	35	6	5	2	8	18			—
	男 (555)	10	18	24	9	7	3	10	19			1
	女 (653)	8	15	31	9	7	1	9	19			1
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		8	18	31	8	7	2	9	17			1

〔2〕あなたは現在どのような生き方をしていますか。つぎの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しむ。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で、自分の生活を楽しむ。
3. 世の中のことはなりゆきに従って、その日を平穏にすごす。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力する。
5. いまの社会を大切にし、それを守ることに努める。
6. 社会とのかかわりをなるべくさけ、ひたすら修業にはげむ。
7. 考えたことがない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	19	39	11	4	3	10	13				1
	高 2 (M 143)	24	32	18	6	—	10	8				1
	高 3 (M 149)	16	42	11	13	1	12	5				—
G 高 (F 130)		13	35	27	7	1	2	10				5
H 高 ²⁶³ (M 128 F 135)		13	38	22	4	2	3	16				3
I 高 (M 113)		22	26	17	6	3	2	24				1
J 高 (F 128)		15	35	23	5	2	2	19				—
K 高 (F 149)		9	48	26	3	3	1	11				—
L 高 ²⁴⁴ (M 138 F 106)		13	37	27	2	4	—	18				—
M 高 ²⁴⁹ (M 127 F 122)		12	29	35	3	2	2	16				0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M 166 F 262)	12	34	24	4	2	2	22				1
	高 2 ⁴¹⁸ (M 163 F 255)	13	37	28	4	2	0	17				1
	高 3 ⁴³⁰ (M 177 F 253)	14	37	26	4	3	3	11				1
	男 (506)	18	29	22	5	3	2	20				1
	女 (770)	10	40	28	3	2	1	14				1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M 957 F 770)		15	36	23	5	2	4	14				1

〔3〕 あなたは将来どのような生き方をしようと思いますか。前問の 1 から 8 までの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しんでいる。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で自分の生活を楽しんでいる。
3. 世の中のことはなりゆきに任せて、その日を平穩にすごしている。
4. よりよい社会の実現を目指して、積極的に努力している。
5. いまの社会を大切にして、それを守ることに努めている。
6. 社会とのかかわりをなるべくさけ、ひたすら修業にはげんでいる。
7. その他。
8. 考えたことがない。

No.3

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒中	中 1 (M ₁₂₀)	5	8	10	38	11	3	8	15			3
	中 2 (M ₁₁₇)	8	9	3	36	7	4	10	23			—
	中 3 (M ₁₁₈)	21	4	11	23	13	7	11	9			1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		10	11	13	29	15	2	8	9			2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		13	9	16	21	16	1	7	15			3
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		17	11	19	18	9	2	9	13			1
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		7	16	16	17	14	3	12	14			0
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F 120})		16	10	18	19	17	3	5	12			2
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		6	20	26	19	13	—	6	8			1
協力校・学年別・男女別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	7	12	20	27	16	1	5	10			1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	12	13	18	18	12	2	8	15			3
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	13	14	16	18	14	2	10	11			1
	男 (555)	11	12	17	25	14	2	7	11			1
	女 (653)	10	14	19	18	14	1	9	12			2
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		11	12	16	24	13	2	8	13			2

〔3〕 あなたは将来どのような生き方をしようと思いますか。前問の1から7までの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しむ。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で、自分の生活を楽しむ。
3. 世の中のことはなりゆきに従って、その日を平穩に過ごす。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力する。
5. いまの社会を大切にし、それを守ることに努める。
6. 社会とのかかわりをなるべく避け、ひたすら修業にげむ。
7. 考えたことがない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	18	14	5	35	8	8	13				1
	高 2 (M ¹⁴³)	30	6	5	34	4	9	11				1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	24	11	4	49	4	4	3				1
G 高 (F ¹³⁰)		22	12	12	32	5	3	8				6
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		21	6	12	32	7	3	17				2
I 高 (M ¹¹³)		21	12	11	25	11	1	19				2
J 高 (F ¹²⁸)		20	21	14	20	13	1	11				—
K 高 (F ¹⁴⁹)		22	19	15	28	8	1	6				1
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		26	12	13	24	15	2	9				—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		25	12	12	20	18	1	12				—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	18	12	16	23	13	2	15				1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	23	4	10	28	10	1	13				1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	28	11	11	26	11	2	7				2
	男 (506)	26	9	0	27	12	2	14				1
	女 (770)	21	15	14	25	12	2	10				2
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		23	12	11	29	10	3	11				1

クロス集計 No.2-No.3

〔2〕 あなたは、現在の大人たちが、どのような生き方をしていると思いますか。

つぎの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しんでいる。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で自分の生活を楽しんでいる。
3. 世の中のことはなりゆきにしがたって、その日を平穩にすごしている。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力している。
5. いまの社会を大切に、それを守ることに努めている。
6. 社会とのかかわりをなるべくさげ、ひたすら修業にはげんでいる。
7. その他。
8. 考えたことがない。

〔3〕 あなたは将来どのような生き方をしようと思いますか。前問の1から8までの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しんでいる。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で自分の生活を楽しんでいる。
3. 世の中のことはなりゆきにしがたって、その日を平穩にすごしている。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力している。
5. いまの社会を大切に、それを守ることに努めている。
6. 社会とのかかわりをなるべくさげ、ひたすら修業にはげんでいる。
7. その他。
8. 考えたことがない。

中学校

NO. 3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	TOTAL
NO. 2	1: 14	11	19	28	18	4	6	17	2	0	1	120
	2: 31	68	38	64	32	9	17	20	0	0	1	280
	3: 66	53	91	101	58	9	41	59	0	1	3	482
	4: 3	7	14	64	26	1	2	11	0	0	1	129
	5: 4	4	13	38	32	3	5	5	1	0	0	105
	6: 9	3	2	8	1	3	0	0	0	0	1	27
	7: 11	10	24	31	11	3	37	12	0	0	3	142
	8: 29	30	42	31	28	5	21	74	1	0	5	266
	9: 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0: 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B: 0	0	1	4	1	0	1	0	1	0	4	12
TOTAL: 167 186 244 369 207 37 130 198 5 1 19 : 1563												

〔2〕 あなたは現在どのような生き方をしていますか。つぎの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しむ。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で、自分の生活を楽しむ。
3. 世の中のことはなりゆきに従って、その日を平穩に過ごす。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力する。
5. いまの社会を大切にし、それを守ることに努める。
6. 社会とのかかわりをなるべくさけ、ひたすら修業にはげむ。
7. 考えたことがない。

〔3〕 あなたは将来どのような生き方をしようと思いますか。前問の1から7までの中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しむ。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で、自分の生活を楽しむ。
3. 世の中のことはなりゆきに従って、その日を平穩に過ごす。
4. よりよい社会の実現を目ざして、積極的に努力する。
5. いまの社会を大切にし、それを守ることに努める。
6. 社会とのかかわりをなるべくさけ、ひたすら修業にはげむ。
7. 考えたことがない。

高 校		NO. 3											TOTAL
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	
NO. 2	1:	125	11	12	56	12	13	24	0	0	0	3	256
	2:	140	107	55	197	61	8	52	0	0	0	6	626
	3:	64	53	77	95	51	6	45	0	0	0	1	392
	4:	3	2	2	67	5	3	0	0	0	0	1	83
	5:	4	1	1	16	15	0	0	0	0	0	0	37
	6:	11	4	5	25	0	20	4	0	0	0	1	70
	7:	49	27	29	44	26	3	67	0	0	0	0	245
	8:	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9:	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	0:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
B:		2	0	0	6	1	0	0	0	0	0	6	15
TOTAL:		399	205	181	506	171	53	192	1	0	0	19	1727

〔4～5〕 今日の日本が解決をせまられている問題はなんでしょうか。あなたの考えにもっとも近いものを、つぎの4群から一つ、5群から一つ選んで下さい。

- 4群
1. 貧富の差が大きいこと。
 2. 受験競争がはげしく、教育がゆがめられていること。
 3. 人口が多く、資源・エネルギーが乏しいこと。
 4. 軍備・防衛力が増強されていること。
 5. 人権が守られていないこと。
 6. 政治が乱れていること。
 7. 生活しにくいこと。
 8. その他。
 9. わからない。

No.4

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	1	7	33	40	1	12	2	2	1		3
	中 2 (M ₁₁₇)	—	9	28	30	1	21	4	4	2		1
	中 3 (M ₁₁₈)	4	23	30	17	1	16	2	6	2		—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		1	17	38	17	3	14	—	2	7		1
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		3	13	23	26	4	11	1	3	15		2
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		—	18	24	18	3	21	5	3	7		—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		1	13	38	18	2	14	1	1	10		0
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		—	23	24	20	2	12	4	2	13		—
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		2	14	44	9	4	5	3	5	15		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	2	11	32	21	4	12	2	3	13		1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	0	18	40	12	2	13	3	2	11		1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	1	18	28	21	3	13	1	3	11		0
	男 (555)	1	13	34	18	4	14	2	4	10		1
	女 (653)	1	17	33	18	2	11	2	2	13		1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		1	15	33	20	3	13	2	3	9		1

〔4～5〕 今日の日本が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。つぎの4群から一つ、5群から一つ選んで下さい。

- 4 群 1. 貧富の差 2. 老人問題 3. 巨大企業 4. 受験戦争 5. 人口問題
6. エネルギー・資源問題 7. 安保・軍備・防衛問題 8. 人権侵害
9. 汚職・政治腐敗 0. その他・わからない

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	1	11	3	6	3	23	36	3	10	4	1
	高 2 (M ¹⁴³)	1	8	—	6	6	17	41	2	10	8	—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	1	9	1	5	5	19	40	3	11	5	—
G 高 (F ¹³⁰)		2	15	1	9	2	28	30	1	9	2	1
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		2	12	1	6	2	31	29	3	10	3	1
I 高 (M ¹¹³)		4	9	3	5	5	44	20	1	8	1	—
J 高 (F ¹²⁸)		1	19	1	2	5	23	27	—	18	5	—
K 高 (F ¹⁴⁹)		1	18	1	10	4	39	15	2	9	1	—
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		1	14	—	6	4	35	26	2	8	4	1
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		2	8	1	2	2	43	33	1	7	1	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	2	15	1	5	5	41	20	1	6	3	1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	1	14	1	6	2	34	28	2	8	3	1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	1	10	1	6	2	30	33	2	14	2	—
	男 (506)	2	11	1	7	4	36	25	2	9	3	1
	女 (770)	1	15	1	5	3	34	28	14	9	2	0
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		1	12	1	6	4	31	30	2	10	3	0

〔4～5〕 今日の日本が解決をせまられている問題はなんでしょう。あなたの考えにもっとも近いものを、つぎの4群から一つ、5群から一つ選んで下さい。

- 5群
1. インフレや不況などで、経済が不安定なこと。
 2. 青少年の非行が増加していること。
 3. 公害・環境破壊が進んでいること。
 4. 他国・他国民を理解し、協力することが十分でないこと。
 5. 社会福祉が立ちおくらしていること。
 6. 選挙のしくみが国民の意志を正しく反映させにくいこと。
 7. 土地や住宅が手に入りにくいこと。
 8. その他。
 9. わからない。

No.5

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒中	中1 (M ¹²⁰)	5	10	45	13	7	12	7	—	1		1
	中2 (M ¹¹⁷)	11	11	32	10	12	8	9	3	5		—
	中3 (M ¹¹⁸)	5	10	26	20	6	12	8	8	3		1
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		6	26	34	12	5	5	4	1	5		0
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		5	26	36	9	5	1	3	—	14		1
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		4	21	29	8	7	8	6	5	12		1
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		6	28	32	8	3	3	9	3	9		0
E 中 (M ¹²⁰ _F ¹²⁰)		3	23	28	16	7	2	6	1	5		—
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		4	30	38	7	5	1	5	1	11		—
協力校・学年別・男女別	中1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	4	32	35	9	3	4	3	1	9		1
	中2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	5	26	34	10	4	1	6	3	11		1
	中3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	7	21	32	10	7	4	7	1	11		—
	男 (555)	5	23	38	9	4	3	6	2	11		0
	女 (653)	5	29	30	10	6	3	5	1	10		1
総合計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		5	23	34	11	6	5	6	2	9		0

〔4～5〕 今日の日本が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。つぎの4群から一つ、5群から一つ選んで下さい。

- 5群 1. 労資の対立 2. 社会福祉問題 3. 経済不況 4. 青少年の非行
5. 土地・住宅問題 6. 公害・環境破壊 7. 他国との協調 8. 物価の上昇
9. 選挙制度 0. その他・わからない

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	2	9	6	7	11	28	17	4	9	6	1
	高 2 (M 143)	1	5	7	8	12	22	32	1	3	9	—
	高 3 (M 149)	1	11	8	11	9	32	17	4	4	3	—
G 高 (F 130)		1	15	8	10	5	25	29	2	1	2	1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		—	16	4	10	6	30	20	6	3	4	1
I 高 (M 113)		1	5	9	21	5	19	19	16	—	4	—
J 高 (F 128)		1	15	16	10	5	14	20	10	2	7	—
K 高 (F 149)		—	14	11	15	7	21	17	11	1	1	1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		—	17	11	15	3	21	21	8	1	2	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		—	9	14	9	1	33	17	10	4	4	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	—	13	8	13	5	29	18	8	2	4	1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	—	15	11	11	5	25	18	11	1	3	—
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	—	13	12	12	3	21	25	8	3	3	—
	男 (506)	—	12	10	14	4	25	19	9	3	5	—
	女 (770)	—	14	10	11	5	25	21	9	2	3	—
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		1	12	9	11	6	25	21	7	3	4	0

〔6～7〕 今日の世界が、解決をせまられている問題はなんでしょう。あなたの考えにもっとも近いものを、つぎの6群から一つ、7群から一つ選んで下さい。

- 6群 1. 世界各地に人種・民族による差別が存在すること。
 2. 飢えに苦しむ人々が多数いること。
 3. 先進国と発展途上国との間に大きな格差があること。
 4. 巨大な企業が、多数の国の物の生産や値だんを支配していること。
 5. エネルギーや資源が不足しつつあること。
 6. 核兵器の開発が進み、軍備縮小の動きがみられないこと。
 7. 民族の自立や利益を守る動きが、国際的な協調や協力をはばんでいること。
 8. その他。 9. わからない。

No.6

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	6	24	7	—	18	41	3	1	—		—
	中 2 (M ₁₁₇)	9	18	11	2	15	37	3	3	1		—
	中 3 (M ₁₁₈)	7	19	7	3	17	36	5	5	1		—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		6	21	7	2	21	37	4	—	3		0
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		5	21	5	2	15	33	3	0	14		0
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		8	29	3	1	18	33	1	3	7		—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		10	21	5	3	14	36	1	2	8		0
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F¹²⁰})		12	26	8	1	13	26	1	1	14		—
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		12	23	2	2	30	21	2	1	7		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	9	26	5	2	20	29	1	1	8		0
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	9	22	5	2	4	29	3	1	10		1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	8	20	5	2	18	37	2	1	7		—
	男 (555)	6	18	4	2	23	36	3	1	6		0
	女 (653)	11	26	6	2	15	28	1	1	10		0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		8	22	6	2	19	33	2	2	7		0

〔6～7〕 今日の世界が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。つぎの6群から一つ、7群から一つ選んで下さい。

- 6群 1. 人種差別 2. 食糧問題 3. 南北問題 4. 多国籍企業
5. エネルギー・資源問題 6. 核・軍縮問題 7. 民族の対立 8. 経済的格差
9. その他 0. わからない

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ₁₅₉)	3	9	6	2	19	48	5	4	1	2	1
	高 2 (M ₁₄₃)	3	12	3	—	14	50	7	3	5	3	—
	高 3 (M ₁₄₉)	1	9	7	1	10	56	8	4	1	1	—
G 高 (F ₁₃₀)		1	9	4	—	19	56	2	5	—	2	1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		3	9	2	0	16	60	3	4	0	3	0
I 高 (M ₁₁₃)		5	6	—	—	28	49	7	2	1	2	—
J 高 (F ₁₂₈)		5	3	2	—	10	63	2	6	—	8	—
K 高 (F ₁₄₉)		5	7	1	1	18	60	4	3	1	1	—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		3	7	4	—	18	55	5	4	2	1	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		2	4	2	1	16	69	2	3	1	2	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	4	7	4	—	18	58	2	4	1	2	1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	4	8	—	1	17	58	5	4	—	4	—
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	2	5	2	1	18	64	3	4	2	2	—
	男 (506)	3	8	2	—	22	54	4	3	2	2	—
	女 (770)	3	6	2	—	15	64	3	4	—	3	—
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		3	8	3	1	17	57	4	4	1	2	0

〔6～7〕 今日の世界が、解決をせまられている問題はなんでしょう。あなたの考えにもっとも近いものを、つぎの6群から一つ、7群から一つ選んで下さい。

- 7群 1. 世界各地の民族や国民、個人の自由がおさえられていること。
 2. 人口が急増し、そのため多くの問題がひきおこされていること。
 3. アメリカとソ連の二大国のきびしい対立があること。
 4. 輸出や輸入の流れ、しくみが国と国との間で平等でないこと。
 5. 公害や環境破壊が世界各地に進行していること。
 6. 大国が政治や経済などの面で小国を支配する傾向にあること。
 7. 宗教の対立が、国際的な協調や協力をはばんでいること。
 8. その他。 9. わからない。

No.7

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	4	21	30	2	31	7	3	2	—		2
	中 2 (M ₁₁₇)	3	16	38	3	19	8	6	3	3		—
	中 3 (M ₁₁₈)	4	17	36	5	14	13	3	5	2		—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})		6	11	25	5	27	7	4	5	9		1
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})		8	9	16	6	22	8	2	3	25		2
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})		2	18	28	3	20	8	3	4	15		—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})		6	14	22	10	14	5	1	4	2		1
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		8	12	26	8	16	4	2	5	19		1
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})		7	14	15	9	22	10	2	3	18		1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	7	12	22	9	21	7	2	3	19		1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	7	13	18	8	22	6	3	5	19		2
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	5	14	24	5	19	8	2	4	17		1
	男 (555)	6	11	23	6	25	8	2	3	14		1
	女 (653)	6	14	19	8	17	6	2	5	22		1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		6	14	24	6	21	8	3	4	14		1

〔6～7〕 今日の世界が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。つぎの6群から一つ、7群から一つ選んで下さい。

- 7群 1. 自由の抑圧 2. 人口問題 3. 米ソ対立 4. 貿易問題
5. 公害・環境破壊問題 6. 大国の小国支配 7. 宗教の対立 8. 新植民地主義
9. その他 0. わからない

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒高	高1 (M159)	4	30	19	6	19	8	4	3	3	3	1
	高2 (M143)	6	22	24	6	19	6	4	4	6	3	—
	高3 (M149)	7	21	30	3	19	4	2	11	1	1	—
G 高 (F130)		3	24	27	10	19	3	4	1	3	5	2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		5	18	26	7	18	7	3	3	4	8	1
I 高 (M113)		5	17	19	11	31	2	3	3	2	9	—
J 高 (F128)		4	8	26	20	16	4	1	1	5	16	1
K 高 (F149)		5	20	34	13	14	5	1	1	3	3	1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		6	13	22	17	23	3	4	1	5	6	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		5	13	24	11	20	4	2	1	4	16	—
協力校・学年別・男女別	高1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	3	21	24	11	19	5	2	1	4	10	1
	高2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	6	12	26	13	22	5	2	1	3	10	1
	高3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	6	15	25	14	19	3	3	2	5	8	—
	男 (506)	6	15	24	8	25	4	3	2	4	7	—
	女 (770)	4	16	26	15	17	4	2	1	4	10	1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		5	18	25	10	18	5	3	3	4	7	1

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.8

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	21	45	15	13	5	—					1
	中 2 (M ₁₁₇)	27	39	14	8	9	3					—
	中 3 (M ₁₁₈)	16	53	11	8	8	4					—
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})	23	46	17	8	4	2					0
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})	10	32	29	16	5	7					1
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})	9	35	30	16	7	3					—
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})	14	34	34	12	4	3					—
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	13	47	25	10	4	1					1
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})	13	40	30	9	5	4					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	12	39	29	12	4	4					—
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	18	34	29	11	6	2					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	13	43	24	12	3	4					—
	男 (555)	20	34	25	10	6	5					0
	女 (653)	10	43	29	13	3	2					0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		16	40	24	11	5	3					0

〔 8 〕 現在の日本は平和である。

(%)

〈 高 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ₁₅₉)	28	48	9	7	8	1					—
	高 2 (M ₁₄₃)	21	52	15	2	8	1					1
	高 3 (M ₁₄₉)	21	52	13	8	4	1					—
G 高 (F ₁₃₀)		15	62	15	5	2	2					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		15	52	20	6	6	1					1
I 高 (M ₁₁₃)		20	38	28	4	5	4					—
J 高 (F ₁₂₈)		11	55	24	5	3	2					—
K 高 (F ₁₄₉)		15	58	17	7	1	1					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		19	46	25	7	3	1					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		5	35	34	18	5	3					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	16	46	23	8	5	1					—
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	12	50	25	7	3	3					—
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	14	19	25	9	4	1					—
	男 (506)	18	41	26	7	3	2					—
	女 (770)	11	53	23	9	2	1					—
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		16	49	21	8	5	2					0

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

ふもつは学校生活の苦悶 (8)

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.9

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	1	6	23	31	38	—					2
	中 2 (M 117)	3	8	26	37	26	1					—
	中 3 (M 118)	3	14	20	29	31	3					1
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		3	4	32	30	28	2					—
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		—	6	26	31	29	5					2
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		1	2	21	31	42	3					—
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		2	4	26	36	28	3					1
E 中 (¹²⁰ _{F 120})		—	7	32	20	33	8					—
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		2	8	25	37	25	4					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	2	5	28	33	28	4					0
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	2	6	27	28	33	4					1
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	1	5	27	34	27	4					—
	男 (555)	3	5	25	29	34	3					—
	女 (653)	1	5	29	34	26	4					1
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		2	6	26	32	30	3					1

〔 9 〕 現在の世界は平和である。

(%)

〈 高 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	3	16	26	30	23	1					—
	高 2 (M 143)	3	14	29	26	25	1					1
	高 3 (M 149)	2	10	23	35	28	2					—
G 高 (F 130)		—	9	40	35	13	3					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		0	7	32	34	25	2					—
I 高 (M 113)		4	4	32	31	27	3					—
J 高 (F 128)		1	5	39	34	20	2					—
K 高 (F 149)		1	5	44	35	14	1					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		1	6	36	41	14	2					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		—	3	26	41	24	6					0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	1	6	36	36	19	2					—
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	1	4	36	35	20	4					—
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	1	6	32	39	21	2					—
	男 (506)	2	6	22	32	25	3					—
	女 (770)	—	5	36	40	17	2					—
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		2	8	29	35	22	2					0

〔8～16〕 つぎのそれぞれの意見について

ふたつを平均値で表したとき

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.10

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	58	26	7	5	—	2					3
	中 2 (M ₁₁₇)	46	28	14	5	5	2					—
	中 3 (M ₁₁₈)	47	23	16	3	5	6					—
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})	56	23	10	6	2	3					0
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})	50	22	7	3	3	13					2
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})	57	29	5	1	2	6					—
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})	57	20	8	7	1	6					—
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	54	26	10	3	2	6					—
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})	53	25	9	3	3	7					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	52	26	9	4	3	6					0
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	58	19	8	4	2	9					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	53	26	8	5	2	6					—
	男 (555)	54	21	10	6	3	6					1
	女 (653)	55	26	7	3	2	8					0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		53	24	9	4	2	6					1

〔10〕 戦争が行なわれていなくても、社会にさまざまな不平等や不正が存在する限り、真の平和とはいえない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	45	28	11	6	6	3					—
	高 2 (M ¹⁴³)	47	24	16	3	7	3					—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	50	28	9	5	5	2					—
G 高 (F ¹³⁰)		51	30	8	5	1	5					—
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		55	27	12	2	2	2					0
I 高 (M ¹¹³)		55	26	13	1	4	1					—
J 高 (F ¹²⁸)		63	23	9	1	2	1					—
K 高 (F ¹⁴⁹)		44	38	11	3	1	2					—
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		56	26	10	3	2	2					—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		65	24	7	0	0	3					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	56	29	10	2	2	2					—
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	57	27	9	2	1	4					1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	56	27	11	2	2	2					—
	男 (506)	58	24	11	2	3	2					—
	女 (770)	55	30	9	2	1	2					—
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		54	27	11	3	3	2					0

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は 1. 「どちらかといえば賛成」の人は 2. 「どちらともいえない」の人は 3.
「どちらかといえば反対」の人は 4. 「まったく反対」の人は 5. 「わからない」の人は 6. と回答
して下さい。

No.11

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	1	4	3	11	80	1					—
	中 2 (M ₁₁₇)	3	2	8	12	73	3					—
	中 3 (M ₁₁₈)	3	7	12	11	64	3					—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		4	7	15	12	53	8					0
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		3	7	13	15	48	15					0
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		4	7	10	15	58	6					—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		5	5	14	18	37	20					0
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		3	11	18	22	35	13					—
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		3	2	16	19	51	8					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	4	6	15	14	48	14					—
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	6	7	13	16	45	14					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	1	5	15	20	50	8					
	男 (555)	6	6	11	14	53	9					1
	女 (653)	2	6	17	18	42	14					0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		3	6	13	15	53	10					0

〔11〕 国を守るためなら徴兵制も必要である。

この主張は、国を守るためには、必要ならば徴兵制も導入されるべきであるという主張である。この主張は、国を守るためには、必要ならば徴兵制も導入されるべきであるという主張である。

この主張は、国を守るためには、必要ならば徴兵制も導入されるべきであるという主張である。この主張は、国を守るためには、必要ならば徴兵制も導入されるべきであるという主張である。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	3	5	6	10	74	2					—
	高 2 (M 143)	6	8	13	10	59	4					—
	高 3 (M 149)	5	1	7	9	74	2					—
G 高 (F 130)		1	7	15	19	52	5					—
H 高 ²⁶³ (M 128 F 135)		3	5	11	11	65	6					0
I 高 (M 113)		7	1	12	12	61	7					—
J 高 (F 128)		—	5	23	16	45	9					1
K 高 (F 149)		2	6	25	24	38	5					—
L 高 ²⁴⁴ (M 138 F 106)		4	4	17	19	51	6					—
M 高 ²⁴⁹ (M 127 F 122)		4	10	16	16	43	12					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M 166 F 262)	3	4	18	17	48	10					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M 163 F 255)	4	8	15	16	53	5					0
	高 3 ⁴³⁰ (M 177 F 253)	2	5	16	17	53	7					—
	男 (506)	6	5	12	12	57	8					—
	女 (770)	1	6	19	19	48	8					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M 957 F 770)		4	5	14	15	56	6					0

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.12

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	—	8	8	13	69	1					1
	中 2 (M 117)	4	2	6	15	71	2					1
	中 3 (M 118)	3	5	11	8	69	3					—
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		5	8	16	17	49	4					0
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		5	3	13	21	38	19					0
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		3	5	8	14	60	11					—
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		3	6	17	19	38	16					—
E 中 (M ¹²⁰ ₈₁ F ¹²⁰)		2	4	13	28	38	16					—
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		6	11	15	22	35	11					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	4	7	16	20	40	13					—
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	5	8	14	21	38	14					0
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	3	5	13	19	48	11					0
	男 (555)	6	7	13	16	48	10					1
	女 (653)	3	6	16	23	37	15					—
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		4	6	13	18	48	10					0

〔12〕 防衛のために税金の負担が大きくなるとか、福祉関係や文教関係の予算がへるのはやむをえない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	4	6	6	16	65	2					1
	高 2 (M ¹⁴³)	4	10	15	23	45	1					1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	4	5	5	19	66	2					—
G 高 (F ¹³⁰)		2	1	13	22	56	5					—
H 高 ²⁶³ (M ¹²⁸ F ¹³⁵)		3	3	12	22	57	2					0
I 高 (M ¹¹³)		4	4	12	19	55	5					—
J 高 (F ¹²⁸)		—	4	13	24	53	5					1
K 高 (F ¹⁴⁹)		—	8	20	31	38	3					1
L 高 ²⁴⁴ (M ¹³⁸ F ¹⁰⁶)		2	6	16	24	47	3					1
M 高 ²⁴⁹ (M ¹²⁷ F ¹²²)		1	2	15	26	49	6					—
協 力 校・ 学 年 別・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ¹⁶⁶ F ²⁶²)	2	5	14	27	46	5					1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ¹⁶³ F ²⁵⁵)	2	3	16	21	52	6					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ¹⁷⁷ F ²⁵³)	1	4	14	25	55	2					0
	男 (506)	3	5	15	20	55	3					0
	女 (770)	1	4	16	27	48	5					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ⁹⁵⁷ F ⁷⁷⁰)		2	5	13	23	53	3					1

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.13

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	2	3	6	16	71	2					2
	中 2 (M ₁₁₇)	4	8	4	14	64	6					—
	中 3 (M ₁₁₈)	3	8	15	8	64	3					—
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})	5	6	11	10	64	5					—
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})	1	1	7	6	73	11					1
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})	3	3	6	10	70	8					—
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})	5	4	14	11	57	8					—
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	4	2	9	8	59	18					—
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})	5	8	12	14	55	8					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	5	5	11	9	60	10					—
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	6	4	9	9	62	10					—
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	2	4	10	12	65	7					
	男 (555)	5	5	11	9	61	9					—
	女 (653)	3	4	10	10	64	9					0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		4	5	10	10	63	8					0

〔13〕 核兵器（原水爆など）を使わなければ、戦争することもやむをえない場合がある。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	3	8	11	13	64	2					—
	高 2 (M ¹⁴³)	6	6	11	17	54	6					—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	5	6	7	13	66	3					—
G 高 (F ¹³⁰)		2	4	10	13	67	3					1
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		2	5	6	12	72	4					—
I 高 (M ¹¹³)		4	2	7	11	67	5					—
J 高 (F ¹²⁸)		1	2	15	9	71	2					1
K 高 (F ¹⁴⁹)		—	3	17	11	65	3					1
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		3	4	10	14	64	4					—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		2	7	8	16	59	8					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	2	6	10	14	63	5					0
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	2	3	9	11	68	6					—
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	2	4	11	13	67	3					0
	男 (506)	4	7	9	12	63	6					—
	女 (770)	1	3	11	13	69	4					0
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		3	5	10	13	65	4					0

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.14

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	42	32	14	6	5	—					2
	中 2 (M 117)	50	26	9	3	10	3					—
	中 3 (M 118)	48	32	9	4	1	3					3
A 中 (M 170 ²⁵² _{F 82})		27	36	20	4	6	6					1
B 中 (M 125 ²³⁹ _{F 114})		17	19	25	10	11	18					1
C 中 (M 63 ¹¹⁹ _{F 56})		20	28	24	10	9	9					—
D 中 (M 81 ²³⁷ _{F 156})		17	30	24	7	8	14					1
E 中 (F 120 ¹²⁰)		11	26	18	8	14	22					1
F 中 (M 116 ²⁴⁰ _{F 124})		21	26	25	7	7	15					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M 189 ⁴⁰⁷ _{F 218})	19	30	22	8	8	12					0
	中 2 (M 186 ⁴⁰⁰ _{F 214})	21	24	24	8	8	15					1
	中 3 (M 180 ⁴⁰¹ _{F 221})	18	28	23	6	11	14					0
	男 (555)	29	30	21	5	7	8					1
	女 (653)	11	26	25	9	10	18					1
総 合 計 (M 910 ¹⁵⁶³ _{F 653})		26	28	20	7	8	11					1

〔14〕 エネルギー不足のため、核の平和利用（原子力発電など）は、認められるべきである。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	51	31	9	1	6	2					—
	高 2 (M 143)	49	28	10	3	5	4					1
	高 3 (M 149)	45	28	11	7	6	3					—
G 高 (F 130)		28	40	19	4	5	3					1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		27	38	19	6	4	5					0
I 高 (M 113)		35	34	19	3	7	3					—
J 高 (F 128)		19	29	27	7	9	9					1
K 高 (F 149)		14	38	27	9	4	7					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		31	32	20	7	5	5					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		27	39	16	6	4	8					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	22	39	21	5	6	7					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	30	34	20	6	4	7					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	27	35	21	8	5	4					—
	男 (506)	39	37	14	4	4	3					—
	女 (770)	18	35	25	8	5	8					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		32	34	18	6	5	5					0

〔 8～16 〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は 1. 「どちらかといえば賛成」の人は 2. 「どちらともいえない」の人は 3.
「どちらかといえば反対」の人は 4. 「まったく反対」の人は 5. 「わからない」の人は 6. と回答
して下さい。

No.15

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (^M 120)	42	22	23	5	4	3					3
	中 2 (^M 117)	48	19	17	6	5	5					—
	中 3 (^M 118)	46	15	21	8	7	3					1
A 中	(²⁵² _{M170} ^{F82})	43	18	17	5	10	6					1
B 中	(²³⁹ _{M125} ^{F114})	31	16	21	7	6	19					1
C 中	(¹¹⁹ _{M63} ^{F56})	41	18	18	6	8	8					—
D 中	(²³⁷ _{M81} ^{F156})	28	20	22	7	6	16					1
E 中	(¹²⁰ _{F120})	38	20	17	3	10	12					1
F 中	(²⁴⁰ _{M116} ^{F124})	33	20	23	7	4	14					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (⁴⁰⁷ _{M189} ^{F218})	36	19	21	7	6	10					0
	中 2 (⁴⁰⁰ _{M186} ^{F214})	31	17	21	6	8	17					1
	中 3 (⁴⁰¹ _{M180} ^{F221})	39	20	17	5	7	11					0
	男 (555)	34	17	22	7	9	10					1
	女 (653)	36	20	18	5	5	15					1
総 合 計 (¹⁵⁶³ _{M910} ^{F653})		37	19	20	6	7	11					1

〔15〕 日本国憲法の平和条項（前文・第9条）では、戦争をしないこと、そのために戦力をもたないことを規定しているが、これは日本の誇りである。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	45	23	15	1	13	3					—
	高 2 (M 143)	43	22	17	3	11	3					—
	高 3 (M 149)	54	17	17	3	5	2					1
G 高 (F 130)		32	32	20	5	5	5					1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		35	20	26	6	6	6					1
I 高 (M 113)		23	18	31	7	13	8					—
J 高 (F 128)		30	27	23	7	3	9					2
K 高 (F 149)		28	26	32	7	4	3					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		34	18	29	5	7	7					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		33	20	20	8	7	10					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	33	22	25	6	7	7					1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	29	21	27	8	7	9					—
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	34	24	26	6	5	5					—
	男 (506)	31	16	27	9	11	8					0
	女 (770)	35	29	27	6	4	7					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		36	22	23	6	7	6					0

〔 8～16 〕 並びつぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.16

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	18	18	27	9	7	20					2
	中 2 (M 117)	19	28	27	3	4	17					1
	中 3 (M 118)	24	29	27	3	6	10					2
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		11	21	28	6	6	26					2
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		5	8	21	2	4	60					2
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		9	15	16	2	6	51					1
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		5	12	16	3	3	60					1
E 中 (¹²⁰ _F 120)		3	10	17	3	4	61					3
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		2	8	26	3	6	54					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	5	10	19	4	5	56					1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	6	12	21	3	6	51					2
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	7	15	24	3	4	46					1
	男 (555)	10	14	22	4	6	43					1
	女 (653)	3	11	21	2	4	58					2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		9	15	23	4	5	43					1

〔16〕 最近、日本は右傾化（保守化）している。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	38	25	18	4	4	11					1
	高 2 (M 143)	33	29	20	6	4	8					1
	高 3 (M 149)	49	30	11	1	5	5					—
G 高 (F 130)		19	36	22	6	1	15					2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		15	20	23	2	3	35					2
I 高 (M 113)		12	12	40	1	5	29					1
J 高 (F 128)		4	12	29	4	2	47					3
K 高 (F 149)		4	19	40	5	—	32					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		11	23	35	3	3	25					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		10	15	28	4	2	42					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	9	15	30	5	2	39					2
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	10	20	30	2	3	35					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	14	24	31	4	2	25					—
	男 (506)	15	20	30	3	4	29					1
	女 (770)	9	19	31	4	1	36					1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		19	22	27	4	3	26					1

〔17〕 北方領土のソ連の基地が強化されたといわれていますが、それに関連して日本はどうすればよいか、あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 北海道の自衛隊を増強する。
2. 北海道に米軍の大きな基地をもうける。
3. 国連に訴えて、真相を調べる。
4. 直接攻めてくるとは思えない。
5. ソ連と話し合って争いをおこさないようにする。
6. 外国との軍事条約をやめ、ソ連と平和条約を結んで、領土の返還を求める。
7. 北方領土の返還要求をやめて、ソ連と平和条約を結ぶ。
8. その他。
9. わからない。

No.17

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	2	3	23	6	26	25	8	6	2		—
	中 2 (M 117)	2	3	18	9	19	24	9	7	9		—
	中 3 (M 118)	6	7	26	6	26	12	8	4	3		1
A 中 $\begin{smallmatrix} 252 \\ (M_{170}F_{82}) \end{smallmatrix}$		5	5	21	6	33	12	9	2	8		0
B 中 $\begin{smallmatrix} 239 \\ (M_{125}F_{114}) \end{smallmatrix}$		1	3	13	5	36	15	9	3	17		0
C 中 $\begin{smallmatrix} 119 \\ (M_{63}F_{56}) \end{smallmatrix}$		6	2	7	3	36	16	11	6	13		1
D 中 $\begin{smallmatrix} 237 \\ (M_{81}F_{156}) \end{smallmatrix}$		4	2	9	5	40	12	8	5	14		1
E 中 $\begin{smallmatrix} 120 \\ (F_{120}) \end{smallmatrix}$		3	1	13	2	38	6	12	3	23		—
F 中 $\begin{smallmatrix} 240 \\ (M_{116}F_{124}) \end{smallmatrix}$		3	4	15	5	38	10	10	3	12		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 $\begin{smallmatrix} 407 \\ (M_{189}F_{218}) \end{smallmatrix}$	4	2	13	5	42	13	8	3	10		0
	中 2 $\begin{smallmatrix} 400 \\ (M_{186}F_{214}) \end{smallmatrix}$	3	4	12	4	34	12	10	4	17		1
	中 3 $\begin{smallmatrix} 401 \\ (M_{180}F_{221}) \end{smallmatrix}$	4	3	16	5	35	11	10	3	15		—
	男 (555)	6	5	18	6	30	14	8	4	8		0
	女 (653)	1	1	10	4	43	10	10	3	18		0
総 合 計 $\begin{smallmatrix} 1563 \\ (M_{910}F_{653}) \end{smallmatrix}$		3	3	16	5	34	14	9	4	12		0

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	6	4	13	10	20	16	12	9	9		—
	高 2 (M ¹⁴³)	6	5	12	13	29	13	12	7	3		—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	5	1	13	13	21	25	8	5	8		—
G 高 (F ¹³⁰)		2	2	32	13	15	14	5	3	12		2
H 高 ²⁶³ (M ¹²⁸ F ¹³⁵)		3	1	21	11	30	12	6	4	12		—
I 高 (M ¹¹³)		4	4	22	5	27	9	10	4	13		—
J 高 (F ¹²⁸)		1	—	17	6	38	9	9	4	14		1
K 高 (F ¹⁴⁹)		—	1	17	8	38	8	11	1	15		1
L 高 ²⁴⁴ (M ¹³⁸ F ¹⁰⁶)		3	3	25	10	26	10	5	7	12		—
M 高 ²⁴⁹ (M ¹²⁷ F ¹²²)		2	2	22	5	30	14	11	3	9		0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ¹⁶⁶ F ²⁶²)	2	2	21	7	33	11	8	4	12		1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ¹⁶³ F ²⁵⁵)	3	2	23	9	27	10	7	3	15		1
	高 3 ⁴³⁰ (M ¹⁷⁷ F ²⁵³)	2	2	23	11	27	12	9	5	9		1
	男 (506)	5	4	24	9	24	13	8	5	10		—
	女 (770)	1	1	21	9	33	10	8	3	14		1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ⁹⁵⁷ F ⁷⁷⁰)		3	2	20	10	28	13	9	5	11		1

〔 18～21 〕 次のそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No 18

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	3	15	13	35	26	7					1
	中 2 (M ¹¹⁷)	6	14	18	26	28	6					3
	中 3 (M ¹¹⁸)	10	15	19	26	19	8					1
A 中	(M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)	10	14	25	24	17	9					0
B 中	(M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)	9	15	27	15	9	25					0
C 中	(M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)	13	9	40	17	8	13					—
D 中	(M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)	8	19	24	20	12	16					1
E 中	(F ¹²⁰ ₁₂₀)	12	12	30	13	11	22					1
F 中	(M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)	12	22	26	16	7	17					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	9	16	25	19	13	18					1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	12	15	30	15	11	18					1
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	10	17	28	21	10	15					0
	男 (555)	13	15	26	15	14	15					1
	女 (653)	8	17	28	20	8	18					1
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		9	16	25	21	14	15					1

〔18〕現在の社会のさまざまな問題を解決するにあたって、過去にさかのぼって考えても、あまり役に立たない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	4	8	16	40	27	4					1
	高 2 (M 143)	9	15	14	25	31	6					—
	高 3 (M 149)	3	10	8	25	53	1					—
G 高 (F 130)		5	12	19	35	25	3					1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		5	19	27	21	21	7					1
I 高 (M 113)		14	12	36	16	13	8					—
J 高 (F 128)		8	18	33	20	13	8					1
K 高 (F 149)		5	21	34	19	15	5					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		9	22	23	27	16	3					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		7	18	23	24	17	10					—
協 力 校・ 学 年 別・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	7	17	25	23	19	10					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	11	18	29	22	15	7					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	5	21	27	26	19	3					0
	男 (506)	12	19	23	21	18	7					0
	女 (770)	5	18	29	25	17	6					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		7	16	23	25	23	6					0

〔18～21〕 次のそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.19

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	9	28	26	18	13	3					3
	中 2 (M ₁₁₇)	9	25	24	25	12	5					—
	中 3 (M ₁₁₈)	9	20	29	24	12	6					—
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})	34	31	19	8	4	4					—
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})	32	26	21	3	5	13					1
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})	29	27	21	8	7	8					—
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})	29	26	24	8	3	10					1
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	31	37	15	5	3	9					1
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})	42	31	13	5	2	6					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	32	32	18	6	3	7					0
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	36	26	16	7	6	9					2
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	32	30	22	6	2	8					—
	男 (555)	38	26	17	6	4	8					0
	女 (653)	30	32	20	6	3	8					1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		28	28	21	10	6	7					1

〔19〕 人間の生活や文化は、すべて時代が古いほど未開で、時代が新しくなるにつれて発展してきている。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	9	13	36	19	19	3					1
	高 2 (M 143)	7	16	30	19	24	3					—
	高 3 (M 149)	5	14	23	30	26	1					—
G 高 (F 130)		4	19	44	19	12	2					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		10	26	38	15	9	2					0
I 高 (M 113)		36	19	27	6	4	6					—
J 高 (F 128)		29	28	20	12	5	5					2
K 高 (F 149)		20	37	29	9	3	2					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		21	25	32	15	6	1					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		31	28	29	4	4	4					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	25	28	30	7	6	3					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	20	25	34	13	5	3					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	18	26	31	15	7	3					—
	男 (506)	26	24	31	10	7	4					0
	女 (770)	18	28	33	13	6	2					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		17	23	31	14	11	3					0

〔18～21〕 次のそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.20

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	37	38	17	3	—	3					3
	中 2 (M ₁₁₇)	35	33	18	5	3	6					—
	中 3 (M ₁₁₈)	25	42	20	6	3	4					—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		32	30	27	4	2	5					—
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		33	27	18	2	2	16					0
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		35	29	17	1	3	14					1
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		29	31	19	4	1	15					0
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F¹²⁰})		26	23	30	3	—	17					2
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		30	34	17	4	1	13					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	32	34	19	3	2	10					1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	32	26	22	3	2	16					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	29	30	22	4	1	14					0
	男 (555)	37	28	20	4	1	11					0
	女 (653)	26	32	22	3	2	15					1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		31	32	21	4	2	11					1

〔20〕 自然科学は発展してきているとしても、宗教・芸術などでは昔のほうがすぐれていたものもある。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	26	33	27	4	3	5					1
	高 2 (M 143)	29	36	22	3	6	5					—
	高 3 (M 149)	30	30	26	6	3	6					—
G 高 (F 130)		37	37	19	3	2	2					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		22	38	29	3	1	7					0
I 高 (M 113)		30	33	24	3	4	7					—
J 高 (F 128)		19	39	23	2	2	13					1
K 高 (F 149)		20	48	22	4	2	4					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		28	33	25	6	2	4					1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		27	41	23	2	1	6					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	28	36	24	4	3	6					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	24	42	22	3	2	7					0
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	26	37	27	3	1	4					1
	男 (506)	30	32	24	3	3	7					1
	女 (770)	23	43	24	3	2	5					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		27	37	24	4	2	6					0

〔 18～21 〕 次のそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

No.21

(%)

〈 中 学 校 〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	10	26	15	20	22	6					2
	中 2 (M ₁₁₇)	10	21	17	28	21	3					—
	中 3 (M ₁₁₈)	9	19	31	16	18	6					1
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})	20	23	26	12	11	8					0
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})	18	23	25	9	7	17					1
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})	17	31	19	14	8	10					—
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})	15	29	27	11	8	12					—
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	18	28	27	3	6	18					—
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})	14	24	28	14	7	13					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	15	25	25	14	10	13					0
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	19	26	24	9	8	14					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	17	26	28	11	7	12					0
	男 (555)	19	23	23	14	10	10					1
	女 (653)	15	27	27	8	6	15					0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		14	23	23	12	10	10					0

〔21〕 歴史が動いてゆく原因は、英雄や偉大といわれる人々の力によるところが大きい。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	7	8	22	33	26	4					1
	高 2 (M 143)	6	20	25	27	19	4					—
	高 3 (M 149)	8	14	15	36	25	3					—
G 高 (F 130)		5	15	33	28	14	4					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		5	22	32	24	12	5					1
I 高 (M 113)		19	20	29	10	15	6					—
J 高 (F 128)		11	25	33	15	9	8					—
K 高 (F 149)		5	42	24	18	9	2					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		12	28	23	19	15	3					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		14	22	27	15	15	7					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	11	26	29	17	10	3					—
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	10	26	29	18	12	5					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	9	22	27	22	16	3					0
	男 (506)	14	22	27	16	17	5					0
	女 (770)	7	27	30	21	10	5					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		9	22	26	22	16	5					0

〔22〕 かつて日本は、アジアの諸地域を侵略^{しんりやく}し、多くの人々を殺傷^{さつしょう}し生活を破壊するなど、大きな被害を与えました。それについて、あなたの考えにもっとも近いものをつぎの中から一つ選んで下さい。

1. どんな理由があろうとも許されるべき行為ではないから、深く反省すべきだ。
2. 反省すべきだが、日本にも戦争を起こさなければならぬ理由があったのだから、侵略はやむをえない面もある。
3. 日本は、アメリカやイギリスの支配から、アジアの人々が独立するのを援助したのだから、ある程度の犠牲^{ぎせい}はやむをえない。
4. アジアを侵略したという点では、日本もアメリカ・イギリスなども同じだから、日本の侵略はとくに問題にならない。
5. 侵略を行ったのは昔の日本人だから、我々には関係がない。
6. わからない。

No.22

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	87	8	2	—	2	—					2
	中 2 (M ₁₁₇)	82	9	—	3	3	3					1
	中 3 (M ₁₁₈)	62	14	1	7	11	5					1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		61	26	3	6	1	2					1
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		57	19	3	2	4	15					0
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		59	22	4	2	3	11					—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		52	27	6	1	4	10					0
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F¹²⁰})		61	13	—	4	3	17					3
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		49	26	3	2	5	15					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	59	25	4	3	3	8					1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	53	22	4	4	3	14					1
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	58	23	1	2	4	12					1
	男 (555)	55	23	4	4	5	10					0
	女 (653)	56	23	3	2	2	12					1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		57	19	2	3	3	9					1

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	69	10	1	4	10	6					1
	高 2 (M 143)	62	17	3	4	9	5					—
	高 3 (M 149)	81	4	4	3	5	3					1
G 高 (F 130)		60	27	2	2	5	2					2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		64	20	3	3	5	4					1
I 高 (M 113)		58	22	3	4	7	6					—
J 高 (F 128)		64	25	2	2	2	5					1
K 高 (F 149)		47	35	2	3	5	9					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		56	30	2	3	4	5					—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		61	27	4	2	3	3					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	60	27	4	2	4	3					1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	57	24	2	3	4	9					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	60	28	2	3	4	3					0
	男 (506)	59	24	3	3	8	4					—
	女 (770)	59	28	2	2	2	5					1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		62	22	3	3	5	5					1

- 〔23〕 奈良県の^{あすか}明日村、長野県の^{つまご}妻籠宿、岡山県の^{くらしき}倉敷市、北海道の^{おたる}小樽市など多くの地域で、昔ながらの町なみなどを歴史的^{けいかん}景観と呼んで、それを保存しようという運動が広がっています。しかし保存のために住居の新築・改修などに制限が加えられたり、新たな経済的負担が必要になるのも事実です。

歴史的景観の保存について、あなたの考えにもっとも近いものをつぎの中から一つ選んで下さい。

1. 景観は生活の変化にしたがって変わってゆくのが当然で、文化財とは言えないから、保存する必要はない。
2. 古い町なみなどは生活に役立たぬばかりでなく支障も大きいから、保存せずに積極的に新しいものに変えるべきである。
3. 歴史的景観の価値は認めるが、経済的負担が大きい場合には破壊するのもやむをえない。

No.23

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (^M 120)	3	—	34	48	4	8					2
	中 2 (^M 117)	6	3	21	56	6	7					1
	中 3 (^M 118)	8	3	19	59	3	6					1
A	中 (²⁵² _(^M170^F82))	2	2	18	60	2	13					1
B	中 (²³⁹ _(^M125^F114))	3	5	13	48	1	28					2
C	中 (¹¹⁹ _(^M63^F56))	7	2	18	48	5	20					1
D	中 (²³⁷ _(^M81^F156))	1	3	21	52	7	15					0
E	中 (¹²⁰ _(^F120))	4	3	13	43	3	30					4
F	中 (²⁴⁰ _(^M116^F124))	1	2	30	40	6	20					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (⁴⁰⁷ _(^M189^F218))	3	3	22	52	3	20					1
	中 2 (⁴⁰⁰ _(^M186^F214))	3	4	19	43	7	23					2
	中 3 (⁴⁰¹ _(^M180^F221))	3	2	18	55	3	19					1
	男 (555)	4	3	20	50	4	18					1
	女 (653)	2	2	19	48	4	22					1
総 合 計 (¹⁵⁶³ _(^M910^F653))		3	2	20	47	4	16					1

4. 歴史的景観は貴重な文化財であるから、私達共通の遺産として保存すべきだし、そのためには国民全体で経済的負担を負うのもやむをえない。
5. 歴史的景観は観光地などの特殊な地域の問題であるから、自分には関心がない。
6. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	2	3	23	61	8	4					—
	高 2 (M ¹⁴³)	6	3	24	50	8	9					1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	7	1	21	62	5	3					—
G 高 (F ¹³⁰)		2	—	24	65	3	5					2
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		2	1	24	57	6	9					0
I 高 (M ¹¹³)		3	3	22	52	12	11					—
J 高 (F ¹²⁸)		1	—	32	58	2	8					—
K 高 (F ¹⁴⁹)		1	—	34	54	5	4					1
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		5	1	27	55	4	9					—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		3	0	18	68	4	6					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	3	1	22	61	4	9					1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	3	1	26	56	6	8					0
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	2	0	27	60	5	5					1
	男 (506)	4	1	21	59	7	9					—
	女 (770)	2	0	28	59	3	7					1
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		3	1	24	59	5	7					1

〔24〕 日本は、太平洋をとりまく地震の多い地域にあるため、人々は昔から地震を恐れてきました。現在予想されている東海地震は、そのエネルギーも大きいのですが、それ以上に被害の大きさが心配されています。今日の日本が、地震に弱くなっているとすれば、そのもっとも大きな理由は何でしょうか。
つぎの中から一つ選んで下さい。

1. せまい地域に、人口が多くなったから。
2. 工業化が進み、各地にコンビナートや危険物を扱う工場などがふえたから。
3. 高層建築や地下街など都市は立体化し、高速の鉄道や道路網がひろがったから。
4. 通勤・通学距離が長くなったから。
5. 災害を防ぐ技術が遅れているから。
6. 災害を防ぐ施設の整備が遅れ、また都市計画の中にも震災に対する対策が不十分だから。

No.24

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	26	19	24	—	—	21	3	3	3		3
	中 2 (M ₁₁₇)	28	13	19	—	2	23	3	5	8		—
	中 3 (M ₁₁₈)	31	11	17	1	3	28	2	2	6		1
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})	23	21	26	2	3	20	—	1	5		1
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})	24	20	18	0	5	12	1	5	14		0
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})	22	17	21	1	—	25	2	5	7		1
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})	26	19	17	1	4	16	1	5	11		—
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	23	20	13	—	4	12	2	5	2		—
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})	20	14	26	—	5	20	—	5	10		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	22	22	20	1	5	15	1	6	11		1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	23	19	19	1	4	19	1	5	11		—
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	25	16	24	0	3	19	1	2	11		0
	男 (555)	25	16	22	1	5	17	1	4	9		0
	女 (653)	21	20	20	1	3	17	1	4	12		0
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		23	17	19	1	3	18	1	4	9		0

7. 日本でもっとも重要な地域だから。
 8. 災害訓練が不十分だから。
 9. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	28	12	19	4	1	27	4	2	1		3
	高 2 (M ¹⁴³)	28	5	17	1	3	38	—	2	6		—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	32	3	13	—	1	50	—	—	1		1
G 高 (F ¹³⁰)		18	18	21	—	1	37	—	2	2		1
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		24	14	21	0	2	32	0	2	4		2
I 高 (M ¹¹³)		31	13	15	2	1	25	2	4	6		2
J 高 (F ¹²⁸)		18	19	31	1	1	22	—	2	5		2
K 高 (F ¹⁴⁹)		24	19	30	—	—	19	—	1	5		—
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		15	20	27	2	2	24	1	1	7		—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		18	18	29	—	3	23	—	2	7		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	21	16	26	1	2	21	0	3	8		1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	22	14	25	1	1	30	0	1	5		1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	19	21	24	0	2	28	1	2	4		0
	男 (506)	26	15	20	1	3	27	1	2	5		1
	女 (770)	17	19	29	0	1	26	—	2	6		1
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		23	15	23	1	1	29	1	2	5		1

〔25〕 都市の出すゴミの量は大変多く、どう処理するか大きな問題となっています。東京都では区ごとにできるだけ処理する方針にしたがって、杉並区の高井戸に清掃工場（ゴミを焼^{しょう}きやくする）をつくろうとしたところ、地域の住民から反対運動が長年にわたってありました。もし、かりにあなたの住まいの近くに清掃工場ができるとしたらどうしますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 自分たちの生活環境がみだれるので、もっと住民の少ない過疎^{かそ}地域の山村などにつくるようみんな働きかける。
2. 清掃工場などつくらず、東京湾にもっと大きな夢の島（埋立地）のようなものをつくるようにみんな働きかける。
3. 自分たちのまわりにつくられるのは反対だが、他に適当な場所がなければしかたがない。
4. 他に適当な場所がなければしかたがないが、みんなで働きかけて、できるだけ多くの補償金^{ほしょうきん}をちとる。

No.25

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	9	13	17	7	1	49	3				1
	中 2 (M ¹¹⁷)	13	8	14	7	2	50	7				—
	中 3 (M ¹¹⁸)	12	14	21	3	11	31	8				—
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		15	15	15	4	2	43	5				1
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		13	9	11	1	6	50	8				1
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		13	13	5	1	3	55	9				—
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		16	11	12	3	3	49	5				0
E 中 (M ¹²⁰ _F ¹²⁰)		23	13	6	3	3	39	10				4
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		18	9	6	2	4	49	12				—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	17	13	11	2	5	49	5				1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	18	13	11	3	4	41	9				1
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	14	9	8	3	2	53	10				1
	男 (555)	13	15	12	3	5	43	8				1
	女 (653)	18	8	8	2	2	50	8				1
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		14	11	11	3	4	44	7				1

5. みんなで反対して、できるだけ多くの補償金をかちとり、どこか環境のよい場所をみつけてそちらに引っ越したい。
6. 自分の区のゴミを自分の区で処理するのは賛成だが、公害などが起らないようみんなで働きかけ生活環境を守るようにする。
7. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	11	6	14	6	11	47	6				—
	高 2 (M ¹⁴³)	9	12	20	6	8	38	6				—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	13	7	13	4	6	51	6				—
G 高 (F ¹³⁰)		8	9	9	2	5	59	6				2
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		14	9	13	1	5	52	6				1
I 高 (M ¹¹³)		15	12	12	1	6	42	12				1
J 高 (F ¹²⁸)		15	6	13	1	2	59	3				1
K 高 (F ¹⁴⁹)		24	9	8	4	5	46	3				—
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		11	12	10	2	4	54	6				—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		12	4	10	3	4	62	5				—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	12	10	9	3	4	51	9				1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	15	9	11	2	5	54	4				1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	14	8	12	1	3	57	3				1
	男 (506)	13	10	13	3	5	48	8				0
	女 (770)	15	8	10	2	4	58	4				1
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		13	9	12	3	5	52	6				1

〔26〕新幹線は東京－博多間、大宮－盛岡間を短時間で結び、大量輸送機関として世界各国の注目を集めています。しかし、東京周辺では住民の協力をえるのに時間がかかり、東北・上越の両新幹線は、当分大宮始発ということです。それというのも、東京－博多の新幹線で、沿線住民は、騒音、振動、TVの受像障害などの被害をうけているという事実があるからです。

沿線住民の新幹線への対応のしかたとして、あなたの考えにもっとも近いものをつぎの中から一つ選んで下さい。

1. 公共の利益だから、多少の騒音等はがまんすべきだと思う。
2. 騒音防止など今の技術で可能な限りの努力をしているのだから、多少の騒音はがまんすべきだと思う。

No.26

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	3	21	13	48	8	7					—
	中 2 (M ¹¹⁷)	8	16	14	45	7	10					—
	中 3 (M ¹¹⁸)	14	19	19	37	3	4					2
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		4	33	9	34	10	8					2
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		4	27	6	40	4	16					3
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		3	22	9	37	7	23					—
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		4	25	14	33	11	11					2
E 中 (F ¹²⁰)		5	28	8	22	8	24					5
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		7	28	9	31	10	13					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	3	31	11	37	8	12					1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	6	25	9	33	9	15					3
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	5	28	9	32	8	16					2
	男 (555)	6	25	11	36	9	11					1
	女 (653)	3	29	8	31	8	16					2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		5	24	10	34	7	12					2

3. 迷惑を受けているのだから、十分に補償金をとって、他の土地へ移ればよいと思う。
4. 迷惑を受けているのだから、設備の改善か、列車のスピードを落して迷惑のかからないように要求すべきだと思う。
5. その他。
6. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	8	14	20	46	8	5					—
	高 2 (M 143)	15	13	22	36	6	6					1
	高 3 (M 149)	9	5	28	48	8	2					—
G 高 (F 130)		6	19	13	43	6	11					2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		1	16	12	53	10	8					0
I 高 (M 113)		4	21	16	36	12	12					—
J 高 (F 128)		5	22	9	46	6	13					—
K 高 (F 149)		1	28	17	44	5	6					—
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		3	15	18	40	8	15					1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		3	28	12	41	6	10					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	4	23	12	43	8	12					—
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	3	22	15	41	7	11					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	2	18	16	48	8	8					1
	男 (506)	3	21	16	42	8	10					0
	女 (770)	3	21	13	45	7	11					0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		5	18	16	44	7	9					0

〔27〕 国連の推計では、2000年の地球人口は増加を低く見積^{みつも}って60億、高く見積れば71億に達するとしています。この人口増加に関連したつぎの文のうち、もっとも賛成できるものを一つ選んで下さい。

1. このように人口が増加すると食料やエネルギー資源の不足が心配されるので、人口増加の大きい発展途上国は、先進国のように出生率をひき下げ、人口増加を抑える政策をとらなければならない。
2. このように人口が増加すると、食料やエネルギー資源の不足が心配されるので、すべての国々で人口増加を抑える政策をとる必要がある。
3. 人口増加による食料やエネルギーの不足を防ぐためには、先進国の人口の減少が望ましい。
4. 発展途上国は、人口を増加させることによりその生産力を高め、人々の暮らしを豊かにすることで人口と食料・エネルギー資源の間の不均^{ふ きんこう}衡は解消される。

No.27

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	19	20	3	8	26	14	6				4
	中 2 (M ¹¹⁷)	18	16	3	9	15	23	15				1
	中 3 (M ¹¹⁸)	20	19	4	15	14	9	19				—
A 中	(M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)	16	18	5	7	18	10	24				2
B 中	(M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)	10	14	3	8	8	11	44				2
C 中	(M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)	9	14	1	10	13	16	35				1
D 中	(M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)	14	18	3	9	10	8	35				2
E 中	(F ¹²⁰ ₁₂₀)	11	17	2	7	8	9	44				3
F 中	(M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)	11	14	5	8	15	16	30				1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	10	14	3	8	12	14	41				1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	14	14	4	6	12	13	33				3
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	14	20	4	10	13	8	30				3
	男 (555)	16	15	4	8	14	12	29				2
	女 (653)	9	16	3	8	11	11	38				2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		14	16	4	9	14	12	28				2

5. 現在のように先進国を中心に、効率的なエネルギー消費とそれによる食料・工業の生産をはかり、発展途上国へは、生産物を販売し、資源を購入する経済協力が必要である。
6. 先進国ではエネルギーや食料の一人当りの消費量が大きいので、これを節約すれば人口増加に対応できる。
7. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	15	18	7	8	9	27	14				3
	高 2 (M 143)	28	24	3	5	12	15	13				—
	高 3 (M 149)	35	31	2	6	8	11	7				1
G 高 (F 130)		32	24	1	4	11	20	8				1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		16	24	3	6	19	19	13				0
I 高 (M 113)		14	26	4	7	17	9	21				2
J 高 (F 128)		13	28	4	7	17	10	20				1
K 高 (F 149)		17	28	4	8	15	15	12				1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		21	28	2	9	22	7	11				—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		14	32	2	8	12	10	21				0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	18	24	3	8	12	17	19				1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	17	30	1	8	17	10	16				1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	19	28	4	6	21	11	12				—
	男 (506)	17	28	3	9	16	11	15				1
	女 (770)	18	27	3	6	17	14	15				0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		20	26	3	7	15	14	14				1

〔28〕 「ナイジェリアは、10年前に落花生を40万トン輸出し、昨年は80万トン輸出したが、輸出による収入は同じであった。アメリカのシボレー（自動車）は、生産が倍にふえ、しかも値だんがつり上がっているのはなぜか」これは、第1回国連貿易開発会議でのナイジェリア代表の発言でした。この発言が問題にしているような事実－工業製品の値上がりと農産物の値下がりについてどう考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 自由な貿易の結果だから当然のことと思う。
2. 自由な貿易の結果だが、気の毒に思う。
3. 工業製品は、技術が複雑で品質も向上しているので、値上がりするのしかたがない。
4. 工業国は、発展途上国を援助する必要がある。
5. 国連などの機関が貿易を管理し、発展途上国が不利にならないようにする。

No.28

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒中	中 1 (M ¹²⁰)	—	26	7	26	27	3	1	5	5		1
	中 2 (M ¹¹⁷)	11	13	4	22	29	9	1	5	5		1
	中 3 (M ¹¹⁸)	13	25	3	11	23	8	3	2	12		—
A 中	(M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)	6	13	11	17	21	13	2	5	11		0
B 中	(M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)	3	12	9	11	12	12	1	3	35		2
C 中	(M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)	6	14	8	10	13	10	3	8	29		—
D 中	(M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)	6	12	12	12	14	10	1	5	28		0
E 中	(F ¹²⁰)	7	13	8	13	10	7	3	5	34		3
F 中	(M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)	5	15	13	9	18	19	1	5	17		—
協力校・学年別・男女別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	4	17	12	13	14	11	1	6	21		0
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	6	12	10	9	16	13	2	6	27		2
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	6	10	9	15	16	13	2	3	25		0
	男 (555)	7	15	12	13	16	13	1	6	17		1
	女 (653)	4	11	9	11	15	12	2	4	31		1
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		6	15	9	14	18	11	2	5	20		1

6. 発展途上国は、お互いに話し合い協力して、商品の値下がりを防ぐ努力をする。
7. 発展途上国は、自動車など工業製品をあまり買わないようにする。
8. そ の 他。
9. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	5	23	4	13	35	8	3	4	7		—
	高 2 (M ¹⁴³)	15	24	1	15	16	9	2	8	8		—
	高 3 (M ¹⁴⁹)	5	19	2	23	28	12	—	4	5		—
G 高 (F ¹³⁰)		9	22	3	21	27	10	—	2	5		1
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		4	13	7	19	37	7	0	3	10		1
I 高 (M ¹¹³)		6	18	6	19	23	8	1	4	15		—
J 高 (F ¹²⁸)		—	11	13	14	38	12	1	—	13		—
K 高 (F ¹⁴⁹)		3	19	19	13	27	6	—	2	11		1
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		3	14	9	27	27	8	1	2	9		—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		5	8	10	16	30	13	1	1	17		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	4	14	7	19	29	9	1	3	14		1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	4	14	11	15	33	9	1	1	12		0
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	4	14	11	22	30	9	0	2	8		0
	男 (506)	6	14	8	20	27	9	1	2	13		0
	女 (770)	3	14	10	18	33	9	1	2	10		0
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		5	16	8	18	29	9	1	3	10		0

〔29〕 将来、あなたが住みたい国をつぎの 1 ～ 0 までの中から一つ選んで下さい。

1. 韓国 2. 中国 3. サウジアラビア 4. アメリカ 5. ブラジル 6. インド
7. スイス 8. フランス 9. ソ連 0. エジプト

No.29

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	1	3	1	19	8	1	51	15	—	—	1
	中 2 (M ¹¹⁷)	1	7	—	16	3	2	49	15	3	3	3
	中 3 (M ¹¹⁸)	3	6	2	22	6	—	44	8	4	2	4
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		—	4	1	21	4	1	50	11	2	1	6
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		1	3	1	23	4	1	44	19	1	1	2
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		1	4	1	14	2	2	50	14	1	2	9
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		—	2	2	24	1	0	50	15	1	3	1
E 中 (M ¹²⁰ ₁₂₀)		3	3	—	23	4	—	48	18	2	—	—
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		—	6	—	17	3	—	36	29	2	5	1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	0	4	1	18	2	0	47	20	0	2	4
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	1	3	1	20	4	1	47	19	1	2	3
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	0	3	1	25	3	1	43	15	3	3	2
	男 (555)	1	6	1	25	5	1	43	12	1	2	4
	女 (653)	1	2	1	18	1	0	48	23	2	2	2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		1	4	1	20	4	1	46	17	2	2	3

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	2	6	1	25	7	1	30	13	5	3	8
	高 2 (M 143)	1	4	4	28	6	3	31	13	2	3	5
	高 3 (M 149)	1	7	1	19	9	3	31	19	2	2	5
G 高 (F 130)		1	2	1	27	4	—	38	14	2	2	8
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		1	5	1	22	4	1	44	14	2	2	4
I 高 (M 113)		—	11	1	24	3	4	44	11	2	2	—
J 高 (F 128)		—	2	2	23	3	—	52	16	1	1	1
K 高 (F 149)		—	1	—	28	1	—	50	17	1	1	1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		1	7	—	26	6	—	41	17	—	1	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		1	3	0	19	2	0	53	20	0	—	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	1	4	0	24	3	1	46	16	1	1	3
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	1	4	1	26	4	1	46	14	1	2	2
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	1	5	1	21	4	1	47	18	1	1	1
	男 (506)	1	8	0	25	5	1	42	14	1	1	0
	女 (770)	0	3	1	18	3	0	49	17	1	1	2
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		1	5	1	24	5	1	42	16	2	1	3

〔30〕 将来、あなたが住んでみたくない国を、前問の1～0までの中から一つ選んで下さい。

1. 韓国 2. 中国 3. サウジアラビア 4. アメリカ 5. ブラジル 6. インド
7. スイス 8. フランス 9. ソ連 0. エジプト

No.30

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	9	—	9	3	1	24	—	—	43	5	5
	中 2 (M ₁₁₇)	20	1	14	9	2	19	1	—	32	3	2
	中 3 (M ₁₁₈)	19	2	14	15	2	13	1	1	27	6	1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})		14	2	5	8	2	19	—	—	39	7	4
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})		18	8	8	11	1	10	2	0	28	13	1
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})		10	3	4	17	—	14	—	1	41	8	2
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})		17	14	7	7	3	10	1	0	32	7	2
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		18	8	8	7	2	18	1	1	33	4	1
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})		7	6	9	8	7	15	—	—	29	18	2
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	8	5	7	8	2	14	0	0	44	10	1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	16	8	9	10	4	11	1	1	28	10	3
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	18	8	6	9	3	16	0	0	27	10	2
	男 (555)	13	6	7	11	3	14	1	0	33	10	3
	女 (653)	15	8	7	8	3	14	1	1	34	9	1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		14	6	8	9	2	15	1	0	33	9	2

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	28	2	16	9	1	13	2	1	21	5	3
	高 2 (M 143)	22	5	8	6	—	20	—	1	26	8	3
	高 3 (M 149)	15	4	10	14	1	15	1	1	34	2	3
G 高 (F 130)		24	5	9	8	1	15	1	—	28	2	7
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		16	6	11	11	2	17	—	—	29	5	4
I 高 (M 113)		18	7	11	9	3	11	—	2	34	6	1
J 高 (F 128)		20	5	9	2	3	13	—	—	35	9	3
K 高 (F 149)		25	16	11	2	3	13	—	—	25	4	1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		14	8	12	5	4	16	—	—	34	6	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		10	9	13	8	4	12	0	0	33	10	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	15	8	11	7	3	17	—	0	28	8	4
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	18	9	10	8	3	12	0	1	30	7	2
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	17	7	12	6	4	13	0	0	37	4	1
	男 (506)	14	8	11	8	3	13	0	0	33	7	2
	女 (770)	18	9	11	6	3	15	0	0	30	6	3
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		18	7	11	8	2	15	1	1	30	6	2

〔31〕 前問で、あなたが住みたくなかったと考えた、もっとも大きな理由は何ですか。つぎの中からあなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 暑すぎる、寒すぎる、緑がないなど、自然条件が悪い。
2. 政治が不安定。 3. 治安が悪い。^{へんけん} 4. 自由がない。 5. 戦争が好きな国。
6. 人種差別や人種・民族についての偏見が強い。または、国民性が嫌い。^{きん}
7. 貧しい。 8. 文化や教育が遅れている。 9. 福祉や医療が遅れている。
0. なんとなく暗いイメージ。

No.31

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	12	9	9	15	17	15	7	3	3	8	4
	中 2 (M ₁₁₇)	19	10	11	10	13	19	2	2	2	9	3
	中 3 (M ₁₁₈)	18	8	7	17	5	18	4	1	1	19	3
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})	7	6	6	14	17	18	6	3	4	15	5
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})	18	4	4	5	23	14	5	3	3	19	2
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})	12	10	4	4	24	17	3	1	3	21	2
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})	11	5	8	5	16	14	6	3	2	28	2
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	12	8	5	8	16	17	7	2	1	24	1
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})	22	4	9	5	15	11	6	3	3	20	2
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	12	6	5	7	3	14	4	3	3	18	1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	15	7	5	8	15	13	6	3	3	23	3
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	14	4	9	6	13	18	6	2	2	21	3
	男 (555)	14	7	8	9	18	13	5	3	3	16	3
	女 (653)	13	4	5	6	18	16	6	2	3	25	2
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		14	6	7	9	17	15	5	3	3	19	3

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	18	16	10	16	6	11	8	2	3	13	3
	高 2 (M ¹⁴³)	15	6	5	17	5	22	5	6	3	11	5
	高 3 (M ¹⁴⁹)	13	6	8	26	5	21	2	3	5	9	3
G 高 (F ¹³⁰)		8	7	6	16	2	29	5	5	1	14	6
H 高 ²⁶³ (M ¹²⁸ F ¹³⁵)		10	8	13	14	7	19	5	5	2	14	5
I 高 (M ¹¹³)		18	5	8	19	11	12	2	1	1	25	—
J 高 (F ¹²⁸)		13	3	5	18	16	15	5	2	—	20	2
K 高 (F ¹⁴⁹)		8	4	5	11	14	17	9	5	3	23	2
L 高 ²⁴⁴ (M ¹³⁸ F ¹⁰⁶)		13	5	5	14	10	13	7	5	3	23	2
M 高 ²⁴⁹ (M ¹²⁷ F ¹²²)		18	4	6	9	14	10	9	6	3	21	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ¹⁶⁶ F ²⁶²)	13	4	6	11	11	13	10	5	4	21	4
	高 2 ⁴¹⁸ (M ¹⁶³ F ²⁵⁵)	11	6	8	15	10	18	5	5	1	19	2
	高 3 ⁴³⁰ (M ¹⁷⁷ F ²⁵³)	14	6	8	14	11	16	4	4	1	20	2
	男 (506)	15	6	9	15	9	13	7	5	3	18	0
	女 (770)	11	5	6	13	11	18	6	4	2	21	3
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ⁹⁵⁷ F ⁷⁷⁰)		13	6	7	15	9	16	6	4	2	17	3

クロス集計 No.11-No.15

〔8～16〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらともいえない」の人は3.
「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答
して下さい。

〔11〕 国を守るためなら徴兵制も必要である。

〔15〕 日本国憲法の平和条項（前文・第9条）では、戦争をしないこと、そのために戦力をもたないことを規定しているが、これは日本の誇りである。

		NO. 15											
中学校		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	TOTAL
NO. 11	1:	14	4	7	5	17	5	0	0	0	1	1	: 54
	2:	19	18	23	16	3	6	0	0	0	0	1	: 86
	3:	50	49	49	13	14	23	0	0	0	0	2	: 200
	4:	71	55	48	13	13	35	0	0	0	0	2	: 237
	5:	396	135	162	42	48	41	0	0	0	0	3	: 827
	6:	34	30	20	4	9	54	0	0	0	0	2	: 153
	7:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
	8:	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	: .1
	9:	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	: 1
	0:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
	B:	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	: 4
TOTAL:		584	291	311	95	105	165	0	0	0	1	11	: 1563

高 校		NO. 15											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	TOTAL
NO. 11	1:	9	5	12	5	27	2	0	0	0	0	0	: 60
	2:	21	17	21	14	9	8	0	0	1	0	1	: 92
	3:	54	57	92	22	15	5	0	0	0	1	1	: 247
	4:	83	66	69	17	9	10	0	0	0	0	0	: 254
	5:	431	209	188	29	61	48	0	0	0	0	2	: 968
	6:	23	20	19	9	5	27	0	0	0	0	0	: 103
	7:	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	: 1
	8:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
	9:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
	0:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
B:	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	: 2	
TOTAL:		621	375	401	97	126	101	0	0	1	1	4	: 1727

No.30-No.31

〔30〕 将来、あなたが住んでみたくない国を、前問の1から0までの中から一つ選んで下さい。

1. 韓国 2. 中国 3. サウジアラビア 4. アメリカ 5. ブラジル
6. インド 7. スイス 8. フランス 9. ソ連 0. エジプト

〔31〕 前問で、あなたが住みたくないと考えた、もっとも大きな理由は何ですか。

つぎの中からあなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 暑すぎる、寒すぎる、緑がないなど、自然条件が悪い。
2. 政治が不安定。 3. 治安が悪い。 4. 自由がない。 5. 戦争が好きな国。
6. 人種差別や人種・民族についての^{へんけん}偏見が強い。または、国民性が^{きら}嫌い。 7. 貧しい。
8. 文化や教育が遅れている。 9. 福祉や医療が遅れている。 0. なんとなく暗いイメージ。

中学校

NO. 31

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	TOTAL
NO. 30	1:	3	27	17	8	3	52	9	4	4	94	4	: 225
	2:	3	5	5	9	2	11	17	11	1	23	3	: 90
	3:	56	12	10	6	8	9	5	4	2	16	3	: 131
	4:	5	9	38	2	34	36	2	0	1	13	2	: 142
	5:	7	3	7	1	1	4	1	0	0	14	0	: 38
	6:	41	11	10	7	1	49	41	16	19	34	4	: 233
	7:	0	4	0	0	0	2	0	1	2	0	0	: 9
	8:	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	: 6
	9:	29	25	15	103	205	67	1	1	3	69	3	: 521
	0:	78	4	4	0	0	6	4	4	7	27	1	: 135
	B:	0	0	1	0	5	1	0	0	2	3	21	: 33
TOTAL: 223 100 108 136 260 240 80 41 41 293 41 : 1563													

高校

NO. 31

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	TOTAL
NO. 30	1:	1	61	28	28	4	81	17	10	0	78	4	: 312
	2:	3	3	5	21	1	19	13	18	2	34	0	: 119
	3:	88	21	11	3	8	17	2	7	2	32	3	: 194
	4:	0	1	56	2	20	46	0	1	2	4	0	: 132
	5:	10	0	0	4	0	1	3	3	2	17	0	: 40
	6:	32	7	12	7	2	41	54	29	25	43	1	: 253
	7:	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4	0	: 7
	8:	0	1	2	0	0	2	0	0	0	3	1	: 9
	9:	38	10	9	193	123	68	2	0	3	68	4	: 518
	0:	55	4	3	0	0	5	4	5	5	18	2	: 101
	B:	1	2	0	4	0	0	0	0	1	1	33	: 42
TOTAL: 228 112 126 262 158 281 95 73 42 302 48 : 1727													

〔32〕 身体障害者の人たちが働きたいという希望を持ってもなかなか働き口がないのが実状ですが、こういった現状に対してあなたはどのように思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 身障者の人では仕事の能率がさがるので、民間会社などがやといたがらないのはしかたがない。
2. 身障者の人たちも人間なのだから、多少会社はもうからなくてもやとってあげるべきである。
3. 国や地方自治体が会社などに補助金を出して、身障者がやとってもらえるようにする。
4. 国や地方自治体は身障者の働ける作業所をひろげるなどの努力をすべきである。
5. 身障者の人が働くといっても大変なので、これらの人が働かなくても生活できるように国や地方自治体が社会保障を充実させる。
6. わからない。

No.32

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒中	中 1 (M ₁₂₀)	5	16	11	56	9	3					1
	中 2 (M ₁₁₇)	11	9	15	45	12	7					1
	中 3 (M ₁₁₈)	19	12	17	39	5	8					1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F₈₂})		8	17	9	51	8	4					3
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F₁₁₄})		4	32	9	35	10	8					2
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F₅₆})		3	29	8	45	5	8					2
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F₁₅₆})		7	27	8	43	8	5					3
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		8	34	8	29	7	11					3
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F₁₂₄})		3	20	7	51	10	7					3
協力校・学年別・男女別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F₂₁₈})	3	29	10	41	9	5					2
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F₂₁₄})	8	27	7	41	8	8					3
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F₂₂₁})	4	20	8	49	8	8					2
	男 (555)	8	22	10	38	11	8					2
	女 (653)	3	29	6	48	6	6					3
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F₆₅₃})		7	23	10	44	8	7					2

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	9	10	16	53	6	4					1
	高 2 (M ¹⁴³)	15	7	17	50	6	3					1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	9	6	16	60	7	2					—
G 高 (F ¹³⁰)		13	4	13	65	2	1					2
H 高 ²⁶³ (M ¹²⁸ F ¹³⁵)		8	7	6	71	4	3					1
I 高 (M ¹¹³)		9	18	12	48	9	4					2
J 高 (F ¹²⁸)		2	12	7	75	2	2					—
K 高 (F ¹⁴⁹)		5	11	5	70	6	2					2
L 高 ²⁴⁴ (M ¹³⁸ F ¹⁰⁶)		7	16	11	58	5	3					—
M 高 ²⁴⁹ (M ¹²⁷ F ¹²²)		5	12	10	63	6	2					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ¹⁶⁶ F ²⁶²)	6	15	9	61	6	3					0
	高 2 ⁴¹⁸ (M ¹⁶³ F ²⁵⁵)	8	11	9	65	4	3					0
	高 3 ⁴³⁰ (M ¹⁷⁷ F ²⁵³)	6	8	9	68	5	2					1
	男 (506)	10	14	11	52	8	4					1
	女 (770)	5	9	8	73	3	2					1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ⁹⁵⁷ F ⁷⁷⁰)		8	10	11	62	5	3					1

〔33〕 母親が外に職を持ち働きに行くことについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに
もっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 家庭で子どもを育てたり、家事をすることが、母親の仕事なので、外に出て働くべきではない。
2. 家庭は家族にとって大切な生活の場なので、家庭を守るために家にいた方がよい。
3. 経済的に必要ならばやむをえないが、できれば家にいた方がよい。
4. 経済的に必要ならば、家庭の仕事は子どもたちで手助けするので、働きにいった方がよい。
5. 母親が希望するなら反対はしないが、家庭の事もきちんとやってほしい。
6. 母親が希望するなら反対しない。家庭の事は子どもが手助けする。
7. 母親も仕事をもって、自分でも、生活できる力をもつべきである。
8. わからない。

No.33

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	10	13	54	3	13	5	2	1			—
	中 2 (M ₁₁₇)	25	9	36	2	12	8	3	5			—
	中 3 (M ₁₁₈)	22	12	35	5	12	9	—	5			—
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		11	10	44	5	11	8	4	4			2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		13	7	38	3	13	14	2	8			1
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		9	4	41	4	13	12	8	8			—
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		15	9	35	5	17	7	5	4			3
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		8	16	28	4	16	10	8	10			1
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		7	15	35	8	16	8	8	3			—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	10	11	37	4	17	12	4	5			1
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	13	11	38	6	12	7	6	7			2
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	10	10	38	6	14	10	6	5			1
	男 (555)	15	12	34	4	14	7	5	8			1
	女 (653)	8	9	40	6	15	12	5	4			1
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		13	8	39	5	14	9	4	5			1

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	12	10	36	3	24	5	6	4			1
	高 2 (M 143)	13	10	36	1	18	6	8	6			—
	高 3 (M 149)	8	7	34	4	23	11	11	2			—
G 高 (F 130)		2	3	28	2	18	18	25	3			1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		5	8	40	6	18	10	10	2			1
I 高 (M 113)		17	9	44	5	12	6	4	3			—
J 高 (F 128)		4	6	47	9	13	9	10	2			1
K 高 (F 149)		2	5	38	7	22	13	10	1			1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		10	5	51	5	11	10	7	1			—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		6	8	54	6	11	9	6	0			—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	11	8	44	6	15	10	8	2			1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	7	6	44	6	12	12	9	2			0
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	7	5	45	4	17	10	11	1			0
	男 (506)	12	7	48	6	14	7	4	2			0
	女 (770)	2	6	42	6	15	13	14	1			0
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		8	7	42	5	17	10	9	2			0

〔34〕 大企業は製品に高い値だんをつけて大もうけをしているといわれることがあります。このことについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 大企業が低い値だんで大もうけをする分だけ消費者は損をさせられているのだから、値だんを下げさせて、ふつうのもうけくらいにおさえたほうがよい。
2. 大企業が大もうけをするのをおさえると、日本の企業だけ小型になって、世界の競争でおくれをとるから、消費者は多少の損をがまんすべきだと思う。
3. 大企業が低い値だんで大もうけをするのをおさえたりすると、かえって景気が悪くなって、国民の生活も苦しくなるから、そのままにしておくほうがよい。
4. 大企業が低い値だんで大もうけをするのは、日本のような競争の社会では、当然のことだと思う。
5. 大企業は低い値だんで大もうけをしているとは思わない。
6. わからない。

No.34

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	57	3	8	8	12	11					3
	中 2 (M ₁₁₇)	46	4	6	16	9	18					—
	中 3 (M ₁₁₈)	32	8	7	21	10	14					2
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		42	6	9	13	6	21					2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		44	4	7	4	4	34					3
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		38	3	10	8	3	38					1
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		35	4	9	11	6	31					4
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F¹²⁰})		43	5	4	5	3	34					5
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		53	7	7	7	5	21					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	44	4	9	7	4	30					2
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	44	6	8	6	5	28					5
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	41	5	7	11	6	27					2
	男 (555)	42	6	11	11	5	23					2
	女 (653)	44	4	5	6	5	33					3
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		44	5	8	10	6	25					3

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	45	4	8	23	7	12					1
	高 2 (M 143)	37	7	6	21	9	18					1
	高 3 (M 149)	52	5	8	17	5	13					1
G 高 (F 130)		38	5	4	16	18	18					2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		35	4	8	16	9	27					1
I 高 (M 113)		45	4	4	11	15	19					2
J 高 (F 128)		50	5	8	13	3	20					2
K 高 (F 149)		45	3	7	21	2	19					2
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		41	4	7	18	9	20					1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		51	3	6	16	4	19					1
協 力 校・ 学 年 別・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	47	4	6	14	6	21					2
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	44	4	6	13	9	23					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	38	3	8	22	10	18					1
	男 (506)	45	5	7	16	9	17					1
	女 (770)	42	3	6	16	8	23					1
總 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		44	4	7	17	8	19					1

〔35〕 あなたは、今の政治のどのような点に問題を感じていますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 今の政治は、財界中心で、国民を犠牲^{ぎせい}にしている。
2. お役人が、国民の声を無視して、政治を動かしている。
3. 政府が、アメリカのいいなりになりすぎている。
4. 労働組合や農協の圧力で政治がかきまわされている。
5. 革新的な野党が無力なので、変革の期待がもてない。
6. 国民の大多数は、民主主義をになうだけの力を身につけていない。
7. 民主主義という政治のしかたでは、政治がよくなるとは思えない。
8. 問題を感じている人もいるようだが、自分としては感じない。
9. そ の 他。
0. わからない。

No.35

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M 120)	8	29	23	4	9	4	—	7	8	8	—
	中 2 (M 117)	11	25	21	4	9	7	4	4	7	7	1
	中 3 (M 118)	14	30	20	2	7	11	3	3	3	7	2
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ F ⁸²)		14	19	23	1	6	2	1	5	9	19	1
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ F ¹¹⁴)		10	20	19	2	2	2	3	3	5	33	3
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ F ⁵⁶)		11	21	19	1	3	3	3	6	9	24	—
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ F ¹⁵⁶)		9	14	14	3	5	3	1	7	11	30	4
E 中 (¹²⁰ _F 120)		8	20	13	2	2	2	2	6	5	37	5
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ F ¹²⁴)		15	13	8	5	4	7	5	10	7	26	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ F ²¹⁸)	9	16	17	3	3	2	3	8	9	28	1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ F ²¹⁴)	14	15	14	3	4	3	2	7	8	28	3
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ F ²²¹)	11	21	16	2	4	4	2	4	6	26	2
	男 (555)	12	19	19	3	6	3	3	6	7	20	2
	女 (653)	11	16	13	2	2	4	2	6	8	33	2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ F ⁶⁵³)		11	20	17	3	5	4	2	6	7	23	2

中④表の「各学級」の「男女別」の「人数」の欄に、各学級の男女別人数を記入する。

(例) 男子 10人、女子 5人、合計 15人

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	21	19	21	6	8	9	—	5	4	5	1
	高 2 (M 143)	27	17	13	4	12	12	3	6	3	3	1
	高 3 (M 149)	15	16	23	2	19	15	3	2	4	2	—
G 高 (F 130)		11	22	17	4	14	14	2	4	8	4	2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		14	25	16	2	8	11	2	4	6	10	1
I 高 (M 113)		22	37	8	2	6	1	2	8	4	10	1
J 高 (F 128)		19	34	5	2	6	6	2	5	4	18	—
K 高 (F 149)		18	26	10	1	4	5	1	17	4	12	1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		19	28	14	1	5	10	2	8	5	9	—
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		23	36	14	0	6	2	1	2	2	13	—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	11	27	16	1	5	9	2	7	7	14	1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	21	27	11	1	6	7	1	8	4	13	1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	23	34	11	1	9	6	1	4	4	6	0
	男 (506)	22	32	13	2	7	7	2	5	3	8	0
	女 (770)	16	28	13	1	7	8	1	7	6	13	1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		19	26	14	2	8	9	2	6	4	9	1

〔36〕 新聞、テレビなどのマスコミについて、あなたはどんなことを感じていますか。つぎの中からあなたの気持ちにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 人々の欲望をかりたてたり、それを利用する傾向があり、社会の現状を維持する役割をはたしている。^{いじ}
2. 退廃的^{たいはい}で人々の生活に悪い影響を与えている。
3. 新しい文化教養を高めるのに役立っている。
4. 政府に好意的な傾向がある。
5. 反政府的な傾向が強い。
6. 公正中立の立場に立っている。
7. そ の 他。
8. わからない。

No.36

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	21	8	8	3	9	9	24	15			2
	中 2 (M ₁₁₇)	15	18	10	3	12	13	12	15			2
	中 3 (M ₁₁₈)	29	19	14	3	5	5	11	12			2
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		17	23	13	4	5	4	13	19			2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		15	15	13	4	4	4	11	31			4
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		13	13	11	2	3	8	16	33			2
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		21	11	9	2	2	3	18	28			6
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		19	17	5	2	4	4	8	36			6
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		16	15	15	5	5	5	14	23			2
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	12	17	11	3	5	3	15	31			3
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	19	14	12	4	3	5	12	27			6
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	21	17	13	3	4	5	14	23			2
	男 (555)	16	18	14	5	5	5	13	22			3
	女 (653)	18	14	10	3	3	3	14	32			4
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		18	16	11	3	5	5	14	24			3

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	14	25	10	5	7	8	18	12			2
	高 2 (M ¹⁴³)	27	25	8	9	9	—	13	8			1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	24	21	9	7	8	3	25	3			—
G 高 (F ¹³⁰)		30	17	7	—	4	8	26	8			1
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		27	15	10	3	2	5	22	16			2
I 高 (M ¹¹³)		24	18	15	4	5	5	13	14			1
J 高 (F ¹²⁸)		30	9	13	2	5	2	16	23			1
K 高 (F ¹⁴⁹)		28	12	15	2	3	5	14	17			3
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		30	14	17	1	2	5	19	11			—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		25	17	18	3	3	3	14	18			—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	22	15	13	2	4	5	21	18			1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	28	15	13	3	3	6	16	17			1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	33	14	16	2	3	3	16	10			1
	男 (506)	26	18	17	3	3	3	16	13			1
	女 (770)	29	13	11	2	3	5	19	17			1
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		26	17	13	3	4	4	18	13			1

〔37〕 戦前のドイツや日本では、民主主義とまっこうから対立する政治が行われました。もし、そのような時代が再びやってきたらあなたはどうしますか。
あなたの気持にもっとも近いものを一つだけ選んで下さい。

1. いまのような民主主義の世の中では、そのようなことが再びやってくるとは考えられない。
2. そのような時代がやってきたとしても、国民の大部分にとって大した意味はもたないと思う。
3. そのようなことが身近かで起れば、抵抗する人たちになんらかの協力をしたい。
4. 抵抗することは勇敢だ^{ゆうかん}とは思^{ぎせい}うが、自分を犠牲にするような危険な行動はとれない。
5. 民主主義の伝統の弱い日本では、どんな抵抗も結局おしつぶされてしまうと思う。
6. いまの時代に必要なのは優れた人による指導だと思う。
7. 社会主義になるより、そういう時代のほうがまだましだと思う。
8. そ の 他。
9. わからない。

No.37

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	16	5	51	8	3	7	3	4	3		1
	中 2 (M ₁₁₇)	19	2	36	15	4	9	3	3	8		—
	中 3 (M ₁₁₈)	9	5	40	21	8	4	1	5	4		3
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F⁸²})		16	6	29	6	5	11	2	6	16		2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F¹¹⁴})		8	3	23	5	9	8	3	7	31		3
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F⁵⁶})		9	5	25	6	7	6	5	7	29		2
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F¹⁵⁶})		9	5	24	7	6	9	5	6	27		3
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		15	8	21	2	4	5	2	1	41		3
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F¹²⁴})		16	5	17	8	9	10	3	8	23		—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F²¹⁸})	13	5	24	7	8	9	3	7	24		2
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F²¹⁴})	11	5	21	5	7	9	4	6	29		4
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F²²¹})	13	5	25	6	6	9	2	6	26		1
	男 (555)	13	4	26	8	8	9	4	6	20		2
	女 (653)	12	6	21	4	6	8	3	6	31		2
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F⁶⁵³})		13	5	28	8	6	8	3	6	21		2

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	10	2	39	17	7	5	5	8	6		1
	高 2 (M 143)	15	7	41	10	8	5	3	7	3		1
	高 3 (M 149)	5	3	44	15	11	6	3	8	5		—
G 高 (F 130)		18	5	35	12	8	6	—	7	9		1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		14	5	36	7	6	10	2	6	14		0
I 高 (M 113)		19	11	27	9	6	9	2	4	15		—
J 高 (F 128)		14	6	27	3	9	10	1	5	23		2
K 高 (F 149)		19	4	23	11	7	7	3	5	19		2
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		17	4	40	9	6	9	2	4	9		1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		8	3	36	7	11	11	2	4	19		0
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	11	4	33	7	10	8	2	6	18		1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	15	5	34	8	6	10	2	4	15		1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	18	5	33	10	7	10	1	4	12		1
	男 (506)	15	6	38	7	7	10	2	4	11		0
	女 (770)	15	4	31	9	8	9	1	5	17		1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		13	5	35	10	8	8	2	6	12		1

〔38〕 日本の法律には、親子はやしないあう義務があると定められています。あなたは、年若い自分の親の老後の生活保障をどのようにしたらよいと考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 親と同居して、どんなことをしてでもやしなう。
2. 同居はしないが、自分の生活力に応じて親をやしなう。
3. 仕事についたり、貯蓄をしておくなど、親自身が努力してほしい。
4. 親は保険料を徴集されているし、^{ちやうく}老齢年金などの社会保障で生活ができるようにしてもら権利がある。
5. そ の 他。
6. わからない。

No.38

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	30	42	1	8	6	12					2
	中 2 (M ₁₁₇)	32	34	9	6	8	10					2
	中 3 (M ₁₁₈)	31	41	8	5	6	8					1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		40	37	2	6	4	9					2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		38	32	5	4	5	14					2
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		24	50	1	7	7	11					1
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		34	41	3	4	5	8					4
E 中 (F ₁₂₀ ¹²⁰)		33	37	2	8	4	15					3
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		38	39	4	7	7	5					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	36	39	2	4	5	10					2
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	36	34	4	6	5	13					3
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	35	43	3	6	6	7					0
	男 (555)	36	34	5	7	6	11					2
	女 (653)	35	43	1	4	5	9					2
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		34	39	4	6	6	10					2

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	25	39	8	8	9	11					1
	高 2 (M 143)	24	37	13	10	8	8					—
	高 3 (M 149)	21	40	13	7	9	10					—
G 高 (F 130)		22	43	12	8	11	2					2
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		22	46	6	9	7	9					2
I 高 (M 113)		24	47	8	4	4	12					1
J 高 (F 128)		27	53	3	7	2	6					2
K 高 (F 149)		32	54	4	5	3	2					1
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		38	40	4	5	5	7					1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		35	45	2	4	8	7					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	31	45	2	7	7	8					1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	29	45	7	5	7	7					1
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	29	48	6	6	5	5					1
	男 (506)	31	40	6	6	6	10					1
	女 (770)	28	50	5	6	6	4					1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		28	38	7	6	7	7					1

〔39〕 あなたが将来、年をとったとき、老後の生活保障はどのようであればよいと考えますか。
あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. こどもたちにやしなってもらう。
2. こどもたちの生活力に応じてやしなってもらう。
3. 仕事についたり、貯蓄をしておくなど、自分自身の努力で生きていく。
4. 老齢年金などの社会保障で生活できるような世の中であってほしい。
5. そ の 他。
6. わからない。

No.39

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ¹²⁰)	9	22	23	27	7	10					3
	中 2 (M ¹¹⁷)	4	15	43	23	4	10					1
	中 3 (M ¹¹⁸)	8	19	32	27	5	8					1
A 中 (M ²⁵² ₁₇₀ ^F 82)		10	23	25	31	2	10					0
B 中 (M ²³⁹ ₁₂₅ ^F 114)		10	23	22	22	2	18					3
C 中 (M ¹¹⁹ ₆₃ ^F 56)		3	17	32	25	8	11					3
D 中 (M ²³⁷ ₈₁ ^F 156)		11	22	26	27	4	8					3
E 中 (M ¹²⁰ ₁₂₀ ^F)		13	23	23	18	3	18					2
F 中 (M ²⁴⁰ ₁₁₆ ^F 124)		13	27	18	29	5	8					—
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ⁴⁰⁷ ₁₈₉ ^F 218)	12	24	22	25	5	10					1
	中 2 (M ⁴⁰⁰ ₁₈₆ ^F 214)	10	21	20	28	2	16					4
	中 3 (M ⁴⁰¹ ₁₈₀ ^F 221)	9	23	28	26	3	9					1
	男 (555)	13	21	23	27	3	11					2
	女 (653)	8	24	24	25	4	12					2
総 合 計 (M ¹⁵⁶³ ₉₁₀ ^F 653)		10	22	26	26	4	11					1

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M ¹⁵⁹)	9	13	41	21	5	10					1
	高 2 (M ¹⁴³)	8	8	50	15	10	9					1
	高 3 (M ¹⁴⁹)	4	7	58	19	3	7					1
G 高 (F ¹³⁰)		2	8	59	21	6	3					2
H 高 (M ²⁶³ ₁₂₈ F ¹³⁵)		2	9	38	33	7	9					1
I 高 (M ¹¹³)		8	18	27	28	7	10					2
J 高 (F ¹²⁸)		7	13	40	27	2	9					2
K 高 (F ¹⁴⁹)		3	15	42	30	3	5					1
L 高 (M ²⁴⁴ ₁₃₈ F ¹⁰⁶)		13	18	31	26	3	9					—
M 高 (M ²⁴⁹ ₁₂₇ F ¹²²)		8	24	24	33	4	8					0
協 力 校・ 学 年 別・ 男 女 別	高 1 (M ⁴²⁸ ₁₆₆ F ²⁶²)	9	16	29	31	6	8					1
	高 2 (M ⁴¹⁸ ₁₆₃ F ²⁵⁵)	5	15	39	29	4	8					1
	高 3 (M ⁴³⁰ ₁₇₇ F ²⁵³)	5	15	40	27	4	8					1
	男 (506)	9	17	27	32	6	9					1
	女 (770)	4	14	42	27	4	7					1
総 合 計 (M ¹⁷²⁷ ₉₅₇ F ⁷⁷⁰)		6	14	39	26	5	8					1

〈高 校〉

〔38〕 日本の法律には、親子はやしないあう義務があると定められています。あなたは、年若い自分の親の老後の生活保障をどのようにしたらよいと考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 親と同居してどんなことをしてでもやしなう。
2. 同居はしないが、自分の生活力に応じて親をやしなう。
3. 仕事についたり、貯蓄^{ちゆく}をしておくなど、親自身が努力してほしい。
4. 親は保険料を徴収^{ちゆうしゆ}されているし、老齢年金などの社会保障で生活ができるようにしてもらふ権利がある。
5. その他。 6. わからない。

〔39〕 あなたが将来、年をとったとき、老後の生活保障はどのようであればよいと考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. こどもたちにやしなってもらふ。
2. こどもたちの生活力に応じてやしなってもらふ。
3. 仕事についたり、貯蓄^{ちゆく}をしておくなど、自分自身の努力で生きていく。
4. 老齢年金などの社会保障で生活できるような世の中であってほしい。
5. その他。 6. わからない。

NO. 39

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	6	TOTAL
NO. 38	1: 66	89	145	125	14	35	0	0	1	0	4	: 479
	2: 28	122	353	195	23	37	0	0	1	0	2	: 761
	3: 10	5	76	15	6	2	0	0	0	0	0	: 114
	4: 2	3	29	69	7	1	1	0	0	0	0	: 112
	5: 2	12	45	18	25	16	0	0	0	0	0	: 118
	6: 3	8	33	31	6	45	0	0	1	0	2	: 129
	7: 0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	: 2
	8: 0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	: 1
	9: 0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	: 2
	0: 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	: 0
	6: 0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	3	: 9

TOTAL:	111	239	682	455	84	138	1	1	4	0	12	: 1727

No.4-No.8

〈中学校〉

〔4～5〕 今日の日本が解決をせまられている問題はなんでしょうか。あなたの考えにもっとも近いものを、つぎの4群から一つ、5群から一つ選んで下さい。

- 4 群
1. 貧富の差が大きいこと。
 2. 受験競争がはげしく、教育がゆがめられていること。
 3. 人口が多く、資源・エネルギーが乏しいこと。
 4. 軍備・防衛力が増強されていること。
 5. 人権が守られていないこと。
 6. 政治が乱れていること。
 7. 生活しにくいこと。
 8. その他。
 9. わからない。

〔8～16〕 つぎのそれぞれの意見について

「まったく賛成」の人は1. 「どちらかといえば賛成」の人は2. 「どちらとも えない」の人は3. 「どちらかといえば反対」の人は4. 「まったく反対」の人は5. 「わからない」の人は6. と回答して下さい。

〔8〕 現在の日本は平和である。

		NO. 8											TOTAL
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B	
NO. 4	1:	4	5	6	3	3	0	0	0	0	0	0	21
	2:	34	104	51	23	14	4	0	1	0	0	2	233
	3:	102	224	113	42	18	13	0	0	0	0	1	513
	4:	37	142	69	46	21	4	0	0	0	0	0	319
	5:	7	14	13	2	1	2	0	0	0	0	0	39
	6:	26	68	58	33	14	6	0	0	0	0	0	205
	7:	7	7	6	9	4	0	0	0	0	0	0	33
	8:	7	13	16	5	2	3	0	0	0	0	0	46
	9:	21	49	43	10	5	14	0	0	0	0	0	142
	0:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B:	2	3	3	0	0	2	0	1	0	0	1	12
TOTAL:		247	629	378	173	82	48	0	2	0	0	4	1563

〔40〕 不況のためあなたのお父さんが、仕事につけなくなったり、賃金を切り下げることなどを言い渡された時に、あなたはお父さんが、どのような態度をとることに賛成しますか。つぎの中からあなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 会社の将来のために、一時的な不利益には耐え、会社のやり方を支持する。
2. 生活の安定を失うわけにはいかないので、黙って働き続ける。
3. 働く者を犠牲にするのは、もうけのために企業がよくやる手段なので、団体交渉やストライキで、会社のやり方に反対する行動にでる。
4. 一時的な不利益は耐えなければならないが、会社のやり方に対する批判の気持だけは失わない。
5. そ の 他。
6. わからない。

No.40

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 中	中 1 (M ₁₂₀)	8	7	22	43	8	9					3
	中 2 (M ₁₁₇)	9	19	22	28	8	13					1
	中 3 (M ₁₁₈)	13	13	21	30	8	15					1
A 中 (M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})		9	14	17	25	14	19					2
B 中 (M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})		4	13	20	19	10	31					3
C 中 (M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})		14	7	18	24	5	30					2
D 中 (M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})		15	5	15	22	9	27					6
E 中 (M ₁₂₀ ¹²⁰ _{F 120})		8	13	15	13	4	43					3
F 中 (M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})		11	10	15	23	8	32					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	11	10	20	24	10	23					2
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	10	12	14	17	9	33					5
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	9	10	16	24	8	32					2
	男 (555)	10	10	22	23	9	23					2
	女 (653)	9	11	12	20	9	34					4
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		10	11	18	24	9	25					3

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	7	8	18	37	7	21					1
	高 2 (M 143)	7	9	24	33	12	13					1
	高 3 (M 149)	7	9	19	42	12	11					—
G 高 (F 130)		3	12	21	36	13	15					—
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		9	11	17	33	11	18					2
I 高 (M 113)		10	12	19	27	9	22					—
J 高 (F 128)		9	9	22	31	6	18					5
K 高 (F 149)		14	14	13	30	11	15					3
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		8	14	23	31	5	17					1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		11	10	25	33	4	16					1
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	10	11	18	29	9	22					1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	10	13	20	30	8	17					2
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	8	10	23	37	8	13					1
	男 (506)	8	11	25	28	8	18					1
	女 (770)	10	12	17	34	8	17					1
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		9	11	20	33	10	16					1

〔41〕 このごろの日本の国の支出は、社会保障や教育などの費用をはじめとして、全体にのびなやんでいますが、その中で防衛費だけがふえている点が目立ちます。このことについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 日本は攻めるだけではなく、守るために防衛費をふやしているのだから、世界の軍事対立をはげしくさせるといった心配はいらない。
2. 日本は経済大国だから、西側の一員として、それにふさわしい防衛費の分担をすべきだと思う。
3. 加工貿易型の日本にとって、輸送ラインはなんとしても守らねばならないから、防衛費はふやしたほうがよい。
4. 日本の防衛費の割合は他の国のそれより少ないのだから、他国なみにしても、とくに問題とするにはあたらない。

No.41

(%)

〈中 学 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑駒中	中 1 (M ₁₂₀)	7	8	3	3	6	43	20	9			2
	中 2 (M ₁₁₇)	10	7	3	—	4	42	20	8			7
	中 3 (M ₁₁₈)	8	3	4	8	3	42	15	10			5
A 中	(M ₁₇₀ ²⁵² _{F 82})	12	11	7	6	4	19	19	19			3
B 中	(M ₁₂₅ ²³⁹ _{F 114})	8	8	3	4	4	23	10	35			5
C 中	(M ₆₃ ¹¹⁹ _{F 56})	13	3	4	8	2	23	14	31			2
D 中	(M ₈₁ ²³⁷ _{F 156})	11	8	5	3	5	17	14	31			7
E 中	(F ₁₂₀ ¹²⁰)	3	8	1	5	3	13	13	48			8
F 中	(M ₁₁₆ ²⁴⁰ _{F 124})	11	9	10	3	5	13	12	34			3
協力校・学年別・男女別	中 1 (M ₁₈₉ ⁴⁰⁷ _{F 218})	13	9	4	4	6	16	14	31			3
	中 2 (M ₁₈₆ ⁴⁰⁰ _{F 214})	10	7	8	5	2	14	14	34			7
	中 3 (M ₁₈₀ ⁴⁰¹ _{F 221})	7	9	5	3	3	25	13	30			4
	男 (555)	13	9	8	5	5	22	13	22			3
	女 (653)	7	8	3	4	3	15	14	40			6
総 合 計 (M ₉₁₀ ¹⁵⁶³ _{F 653})		10	8	5	4	4	24	15	26			5

5. 日本はアメリカに守ってもらっているのだから、国民に多少の犠牲^{ぎせい}が及んでも、がまんして、安保条約を守ってアメリカに協力しなければいけない。
6. アメリカのいいなりになって、国民を犠牲にするような支出のしかたはよくないから、軍備拡張を約束した安保条約をなくしたほうがよい。
7. そ の 他。
8. わからない。

(%)

〈高 校〉		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
筑 駒 高	高 1 (M 159)	4	6	3	3	6	52	13	9			5
	高 2 (M 143)	7	10	3	4	3	41	18	8			7
	高 3 (M 149)	3	8	3	3	1	49	23	7			3
G 高 (F 130)		6	9	—	12	1	34	27	11			1
H 高 ²⁶³ (M ₁₂₈ F ₁₃₅)		7	6	5	5	3	32	22	18			2
I 高 (M 113)		17	10	3	7	5	26	16	14			3
J 高 (F 128)		12	8	4	2	2	24	19	24			5
K 高 (F 149)		15	9	3	8	4	15	16	23			6
L 高 ²⁴⁴ (M ₁₃₈ F ₁₀₆)		12	10	5	7	4	27	20	16			1
M 高 ²⁴⁹ (M ₁₂₇ F ₁₂₂)		9	13	5	3	4	24	16	24			2
協 力 校 ・ 学 年 別 ・ 男 女 別	高 1 ⁴²⁸ (M ₁₆₆ F ₂₆₂)	9	10	4	6	5	24	22	20			1
	高 2 ⁴¹⁸ (M ₁₆₃ F ₂₅₅)	13	10	4	4	3	25	18	21			3
	高 3 ⁴³⁰ (M ₁₇₇ F ₂₅₃)	10	9	4	7	3	30	18	16			3
	男 (506)	12	11	6	6	4	26	19	13			2
	女 (770)	10	8	2	5	3	26	20	23			3
総 合 計 ¹⁷²⁷ (M ₉₅₇ F ₇₇₀)		9	9	3	5	3	32	19	16			3

5. 分析と考察

〔1〕 社会科学習の理由・目的－中・高

中学生が社会科を学ぶ理由としては、(5)「社会の理解」24%が(2)「社会科の存在」18%とともに最も大きな数値を示しており、ほとんどの学校では(5)は(2)を上回るか、また同数値を示している。また、(3)「興味・関心」、(4)「教養」、(5)及び(6)「社会建設」の諸理由を＜積極的理由＞、(1)「受験」、(2)、(8)「無関心」を＜消極的理由＞とするならば、その比率は54%と41%である。この中で、社会科教育の目的として最も重点がおかれるべき(6)「社会建設」は7%と最低値を示している。

高校生の場合、(2)と(5)は逆転して23%と20%である。また＜積極的理由＞50%に対し＜消極的理由＞は46%と、両者がほぼ均衡に達している。(6)については3%とさらに減少傾向にある。中・高を通じて(1)「受験」は7%と予想外に小さな数値であるが、多分に(2)「社会科の存在」に吸収された結果かとも思われる。

〔2〕 現在の大人の生き方と〔3〕 将来の自分の生き方－中

中学生のとらえた大人の生き方は、(1)、(2)及び(3)を＜消極的生き方＞、(4)、(5)及び(6)を＜積極的生き方＞と概括した場合、57%対17%という数値で示されている。これを将来の自分の生き方として認識する場合、その数値はともに39%となっている。〔2〕・〔3〕の対比において著しい傾向は、(4)「積極的な社会建設」が8%から24%へと3倍に増加するのに対して、(3)「現状順応」が31%から16%へと半減している点であろう。また前問の選択肢(6)「社会建設」7%と〔3〕(4)の24%は矛盾であり、〔3〕(4)における建前的な回答をうかがわせる。

〔2〕 現在の自分の生き方と〔3〕 将来の自分の生き方－高

現在の＜消極的生き方＞74%に対し、＜積極的生き方＞の数値はわずかに11%。これが将来の生き方となる46%対42%と変化するが、やはり前問(6)の数値3%と関連させると、中学生の場合以上の大きな矛盾が出ている

〔4～5〕 今日の日本の課題－中

〔4〕では(3)「人口・資源・エネルギー」33%、(4)「軍備・防衛」20%、(2)「受験」15%、(6)「政治の乱れ」13%、〔5〕では(6)「公害・環境破壊」34%、(2)「青少年の非行」23%、(4)「国際協調」11%が、10%以上の数値を示した。逆に〔4〕の(1)「貧富の差」、(5)「人権」、(7)「生活困難」、〔5〕の(1)「インフレ・不況」、(6)「選挙」などが5%以下である。

なお〔4〕～〔8〕の各設問については、中・高とも学校差が大きいつともに、回答の方法、選択肢について再考すべき点が多い。

〔4～5〕 今日の日本の課題－高

〔4〕では(6)「エネルギー・資源」31%、(7)「安保・軍備・防衛」30%、(2)「老人」12%、(9)「汚職・政治腐敗」10%、〔5〕では(6)「公害・環境破壊」25%、(7)「他国との協調」21%、(2)「社会福祉」12%、(4)「青少年の非行」11%が10%以上の回答。逆に〔4〕の(1)「貧富の差」、(3)「巨大企業」、

(4)「受験戦争」、(8)「人権侵害」、〔5〕の(1)「労資の対立」、(9)「選挙制度」が5%以下であった。

〔6～7〕 今日の世界の課題 — 中

〔6〕では(6)「核・軍縮」33%、(2)「食糧」22%、(5)「エネルギー・資源」19%、〔7〕では(3)「米ソの対立」24%、(5)「公害・環境破壊」21%、(2)「人口」14%などが10%以上、逆に〔6〕の(3)「南北問題」、(4)「巨大企業」、(7)「民族・国家の対立」、〔7〕の(1)「自由の抑圧」、(4)「貿易」、(7)「宗教の対立」などが5%以下の数値を示した。

〔6～7〕 今日の世界の課題 — 高

〔6〕では(6)「核・軍縮」が57%と圧倒的に多く、次いで(5)「エネルギー・資源」17%、〔7〕では(3)「米ソ対立」25%、(2)「人口」及び(5)「公害・環境破壊」が各18%、(4)「貿易」10%が目立ったところ。逆に5%以下と数値が低いところは〔6〕の(1)「人種差別」、(3)「南北問題」、(4)「多国籍企業」、(7)「民族対立」、(8)「経済的拡大」、〔7〕の(1)「自由の抑圧」、(6)「大国の小国支配」、(7)「宗教対立」、(8)「新植民地主義」などである。

〔8～9〕 現在の日本と世界の状況 — 中・高

「現在の日本を平和」とする(1)+(2)の数値は、中学生が56%、高校生が65%であるのに対し、「現在の日本は平和でない」とする(4)+(5)の数値は16%と13%である。また(3)「どちらともいえない」のが24%と21%で、結構大きい数値である。

一方、「現在の世界は平和」とみる(1)+(2)の数値は、中学生が8%、高校生が9%、そうでないとする数値(4)+(5)は62%と56%、(3)「どちらでもない」のが26%と23%。日本・世界ともに「どちらでもない」数値の増加を含めて、平和的状況の崩壊を、漠然とながらでも感じ取っていることがうかがえる。

〔10〕 構造的暴力 — 中・高

J・ガルトゥングの言う構造的暴力の認識がどの程度のものであるかを示そうとしたもの。この数値と〔8〕及び〔9〕の数値との間に出てくる矛盾を通して、いわゆる<消極的平和>と<積極的平和>に関する認識を高めていこうとするのが本問の目的である。

数値の矛盾は、中学生の場合、「日本は平和でない」とした16%、「世界は平和でない」とした62%に対して、ここに構造的暴力の考え方を示したことによって、77%が「平和でない」と答えるを得なくなっている。高校生の場合でも同様に、13%と56%であったものが、ここでは81%と上昇する。「平和とは何か」という概念を再検討する上で重要な数値といえる。

〔11〕 徴兵制の是非 — 中・高

徴兵制を肯定する数値(1)+(2)は中・高ともに9%、否定する数値(4)+(5)はそれぞれ68%と71%である。

〔12〕 防衛費負担増の是非 — 中・高

防衛費の増大、福祉・文教予算の減少を肯定する数値(1)+(2)は、中学生10%、高校生7%、否定する数値(4)+(5)はそれぞれ66%、76%で、いずれも前問との相関が大きい。

〔13〕 通常戦争の是非 — 中・高

核兵器不使用のいわゆる通常戦争を肯定する数値(1)+(2)は中学生 9 %, 高校生 8 %, 否定する数値(4)+(5)はそれぞれ73 %, 78 %である。

〔14〕 核の平和利用

肯定する数値(1)+(2)は中学生54 %, 高校生66 %, 否定する数値(4)+(5)はそれぞれ15 %, 11 %である。(3)「どちらともいえない」数値がそれぞれ20 %と18 %を占めるものの、核の平和利用を肯定する数値が過半数を超したことが、今回の調査の大きな変化であり、今後、核の平和利用肯定の論理を分析する必要がある。

〔15〕 平和憲法

日本国憲法の平和条項を誇りとする数値(1)+(2)は、中学生 56 %, 高校生58 %, 否定する数値(4)+(5)は、ともに13 %。(3)「どちらともいえない」数値が20 %, 23 %を占めていることと並んで、肯定派の減少が目立ちつつある。

〔16〕 日本の右傾化(保守化)傾向

右傾化(保守化)傾向の存在を認識する数値(1)+(2)は、中学生24 %, 高校生41 %, 認識していない数値(4)+(5)はそれぞれ 9 %と 7 %。(3)「どちらともいえない」数値がそれぞれ23 %と27 %, (6)「わからない」数値がそれぞれ43 %と26 %を占めるが、中・高による認識の差が比較的よく出ている設問である。

〔17〕 ソ連の軍事的脅威について

前の設問とは角度を変えて、一般的なことではなく、マスコミ等でこの間騒がれてきた、ソ連の軍事的脅威といった具体的問題についてどう考えているのか問うてみた。

(1), (2)の好戦的に対応しようとする生徒は中・高とも 5 ~ 6 %であり少ない。(3)と(5)を合計すると中・高ともに 5 割に達し、多くの生徒が国連への期待、話し合いによる解決を望んでいる。一方、(6), (7)のように積極的に日本の平和を平和条約等によって確保しようとする生徒は中高ともに22~23 %である。全体的として冷静に受けとめていよう。

前回の調査と比較して、(1), (2)の割合は半分程度に減っている。前回は丁度、マスコミで大々的に報道されていた時期であり、その影響を強く受けていた為と思われる。

〔18~23〕 歴史認識について

ここでは中高とも同一設問により、歴史を見る眼が形成されているかどうかを基本的に問う調査を意図した。

以下、総体的に見てゆくが、先ず〔18〕に於て歴史学習の意義を肯定する層(選択肢 4・5)が 35 % (中学) から 48 % (高校) へと伸び、また、判断を控える層(6)が 15 % (中学) から 6 % (高校) へと減少しているところに、中学から高校にかけての認識力の高まりを考えることが可能であろう。同様に歴史の発展に対する見方の面で、〔19〕の(3~5)の選択者が 37 % (中学) から 56 % (高校) へと増加しているところに、学年進行に伴って歴史への省察が深まってゆく傾向が見てとれよう。また、この点に関しては、〔19〕の(3~5)を選択した生徒が〔20〕の(1・2)

を選択する割合がかなり高いことが注目される。(協力校を数校抽出して〔19〕〔20〕をクロス集計したところでは、〔19〕の(3～5)を選択した者の60～70%が〔20〕の(1・2)を選択しており、両者の相関性が高い)。この部分の生徒は全体に占める割合はそれほど高くは無いものの歴史に対する批判的認識力がより深まっている層と考えられるが、同時にそれ以外の生徒は歴史に対する理解が画一的であると共に意識が未統一の状態にあると言えそうである。〔21〕は歴史の動因についての意識を見たものであるが、英雄などの役割を重視する層が37%(中学)から31%(高校)へと漸減するところに認識力の広がる可能性を見出しうると共に、高校の段階でも尚かつ30%が英雄史観的視点を支持しているところに問題点を指摘できよう。歴史に於ける個人の役割を如何に評価し如何なるものとして位置づけるかは難しい問題であるが、一般に偉大と評価される人物も特定の歴史的状況の枠組の中で何らかの歴史的課題を果たすことにより特殊な役割を演じるにすぎない。謂わば彼等歴史上の人物の意識や行動の大きな部分を規定する状況の歴史的構造を理解することが重要であり、その上に立って初めて彼等の行為を意義づけることができるのであり、高校の30%の層を如何にしてこの点に気づかせ認識を深めさせるかが具体的な授業構造の中で問われねばなるまい。これに対するひとつの手がかりを得るものとして、従来の文化遺産の枠組に入らない(授業などで取り上げられることの少ない)生活文化遺産への意識を見ようとしたものが〔23〕であったが、但し選択肢の不適切さから十分な結果を得るには至らなかった。〔22〕は過去の戦争に対する基本的な倫理感を問うたものであるが、「わからない」とする者も含めて自己弁護型或いは無反省型の思考をする者が中高とも30%程度存在することは気懸りな点である。

以上、全体を通観して述べて来たが、本校生に関するものとして1点だけ考えてみたい。〔18〕に於て、中学生に限ってではあるが、学年進行に伴ない歴史学習の意義を肯定する者が減少し(61→54→45%)、否定する者が増加する(18→20→25%)傾向が見られる。同一年度生を追跡調査したものではないので厳密な分析はできないが、この傾向が、中学1年段階の漠然たる(無批判たる)歴史理解の次元から、より現実的・具体的理解を優先する方向へと移行していることを示すものとは解せないであろうか。本問の場合、指示文に「現代の社会のさまざまな問題を解決する」という表現を使用した点にも問題が存するが、以上のように判断することが可能であれば、学年進行と共に現実に引きずられた思考様式をもつようになる生徒に対し、歴史に本来的に内在する限界を理解させつつも更に一步踏み込んだ真の歴史認識を如何にして形成させるかというところに、高等学校段階に於ける歴史教育の果たす課題があると言えよう。

現代の社会が過去の様々な社会の発展の上に形成されてきたという事実を通して、現実の社会事象を歴史的構造をもつものとして把握し理解する能力を養うと共に、自己に課せられた歴史的課題の自覚へと方向づけるのが歴史教育の最大の目的である。その目的が達成されているか否かは素よりこの調査から判断できるところではない。事実の拠って立つ史的構造を知ることを通して、換言すれば事実をより具体的・検証的に知ることを通して、初めて歴史に対する認識は深まってゆくのである。その意味で、このような調査と歴史事実の理解度を見る調査とを併用するこ

とによって、生徒の認識の次元を具体的に把握することができると言う可きであろう。

〔24〕 自然災害の社会的側面

この設問の狙いは、自然に起因する災害の社会的側面をどうとらえているかをみることによって、自然と社会の関わりについての見方・関心を確めようとしたものである。

地震は、本来自然現象であるか、人間社会のあり方で災害の姿は大きく変わる筈である。選択肢の(1～4)は、災害が大きくなる理由を人間社会の過集積に求める考え方である。この考えをさらに進めれば、人口の大きさに、災害が規定されるという宿命論に陥いる。工業化、都市の立体化・巨大化は、それを必要とし、可能にした生産力、技術の集積の結果であり、同じ技術・生産力は、予想しうる巨大地震のエネルギーから、人間の生命・財産を守る手段を十分に用意する。しかるに、経済性・政治性から防災対策が十分になされないまま、集積が進められている点に問題がある。

選択肢(1～3)に対する回答は、中・高とも60%に達し、地震に対しては、宿命論に陥りやすい意識が良く示されている。その中で、(2)に対する気持が、本校の高2・3で激減していることが目立つ。この設問で、期待したい回答は、選択肢(6)に対する支持であるが、全体として、中学生よりも高校生の方が10%高い回答をしている。とくに本校の高校生が40%近い回答をしていることは、前記、〔2〕に対する支持の激減と合せて、災害の社会的側面に対する見方が高2から急速に深まっている事実を示している。

〔25〕 ゴミ処理と住民エゴの問題

清掃工場の建設という具体的な条件を設定して、住民としてどういう行動をとるかを問う。

自分の区で処理するという考えの者が、40%～50%に達しており健全な考え方が大勢を占めていると言えるが、学校差・男女差が大きく、自然破壊になりかねない海への投棄や、少数者の地域(過疎地域)への犠牲のしわ寄せを支持するものが、各10%もいることは、大きな問題であろう。

〔26〕 公共の利益と一部住民の犠牲

新幹線を、迷惑をうける沿線住民という具体的な状況の中で、公共の利益と一部の犠牲をどう考えるかという設問である。

公共の利益を優先し、一部住民に犠牲を強いる考えが全体で40%もいることは、大変問題である。特に本校の生徒には、「補償金で、他の土地へ移れ」という者が多く、金さえ払えば、一部の犠牲は当然という態度に不安が感じられないだろうか。

「迷惑のかからないように要求すべき」という者は、高校生で増加している点は評価できるが学校差も大きい。

〔27〕 人口問題 — 南北の論理

人口問題で、先進国の主張と、発展途上国の主張のどちらを支持するかという問いである。

(1.2.5)は先進国の主張であるが、その支持は、中学生の44%から、高校生の61%へと急増しており、途上国の主張を支持するものが、中・高とも24.5%どまりであるのと著しい対照であ

る。この設問では、分らないとするものが、中1と、女生徒に多く、高校生で減少しているが、理解が進むほど先進国の主張に賛成が集まっている点に留意する必要がある。

〔28〕 南北問題

垂直的分業の中で、工業製品の値上がり、農産物の値下がりについてどう考えるかという問いである。選択肢（1～3）が工業国の考え方、（4～7）が発展途上国の主張である。

この問いでも中学生に、わからないという答えが目立ち、高校生では減っている。北の主張を支持する生徒は、中高とも30%で変化に乏しいが、途上国の立場とくに国連による貿易管理が、高校生で10%近く増加している点と、その選択肢の支持に学校差が大きい点は、学習との関わりの深さを示唆しているのではなからうか。

〔29. 30. 31〕 住みたい国、住みたくない国と理由

国々に対する気持を「住む」という形で問う設問。住みたい国では、スイス・アメリカ・フランスの順で、アメリカは、中学生よりも高校生、女生徒より男子生徒の比率が高く、スイス、フランスは、女生徒の支持が高い。本校生徒は、高校生のスイス選択が他校に較べ低いことが目立つ。

住みにくい国では、ソ連・インド・韓国が多いが、ソ連嫌いは、中1と高3で特に高くなるという特色を持っている。

住みたくないと考える理由では、中学生がイメージ・戦争・偏見・自然・自由、高校生はイメージ・偏見・自由・自然・戦争と順位に多少変動があり、イメージが第一位になる点は、現代っ子の特色であるが、2位以下は微妙に入れ替り、上級生の方が、現実には即した理解をしている点が指摘できよう。「住みにくい」と「理由」の相関では、ソ連と戦争が好きな国は中学生で多く、高校生では「自由がない」ことの選択が多い。アメリカについても、中学生は、「治安が悪い」「戦争が好き」「～偏見」が同じであるのに対し、高校生は、「治安」「偏見」などに理由が集まっていて、認識の段階が「住む」という点で、現実性を深めているといえよう。なお、本校生徒は、この点で、中学生段階から、高校生に似た認識を示している。

〔32〕 障害者の労働権について

身体障害者が働こうとすることに対して、どう考えるかを問うている。「国や自治体が身障者の働ける作業所をひろげるなどの努力をすべきである」という回答がもっとも多く、中学生で4割強、高校生で6割強みられる。この回答に、「会社などに補助金を出して、身障者がやとってもらえるようにする」とか「身障者が働かなくても生活できるように社会保障を充実させる」とかいった回答を合わせると、身障者の働く権利や生存権の保障を国や自治体に求める意識は、中学生の6割強、高校生の8割近くに達している。差別意識を克服する基礎的な力が生徒の心に育っていること、また、学習によって成長していくことが指摘できる。しかし、身障者の労働権・生存権の問題では、男子生徒の意識が女子より遅れている傾向がみられる。「仕事の能率がさがるから、民間会社などがやといたがらないのはしかたがない」という回答が中高とも1割未満であることは、生徒の社会認識の健全な発達を示すものと考えられるが、本校など学力水準の高い学

校の生徒に、この回答が多くみられるのは注目されることである。今後の検討の課題となろう。

〔33〕 女性の労働について

母親が外に働きに行くことをどう思うか、問うている。「経済的に必要ならばやむをえないが、できれば家にいた方がよい」という回答がもっとも多く、中高とも約4割ある。これに、「家事は母親の仕事だから、外に出て働くべきではない」とか「家庭を守るために家にいた方がよい」とかいった回答を合わせた、甘えん坊型の、母親の自立を認めようとししない立場は、中高とも7割強に達している。「母親が働きたいのなら、家庭の事は子どもが手助けする」とか「母親も仕事をもって、生活できる力をもつべきである」とかいった、母親の自立を承認する回答は、中学生の1割強、高校生の2割弱しかない。母親の自立を認めることは、同時に子どもが自分の自立を決断することであるが、これらの数字は、高校生になっても、まだ、多くの者が甘えの構造から脱却できていないことを示している。この問題でも男女の差がみられる。自立を認める者は、中学では男12%、女17%、高校では男11%、女27%となっており、女子生徒の社会認識の高まりがみられる。奴隷所有者が奴隷の隷属を当然と見做すのに似て、男子生徒は女の自立を理解することができず、また、年齢が高くなっても理解する能力が成長していないことを示しているといえよう。

〔34〕 独占価格について

大企業の独占価格による大もうけをどう思うか、問うている。「消費者が損をさせられているのだから、値だんを下げさせてふつうのもうけくらいにおさえたほうがよい」という回答がもっとも多く、中高とも4割5分ほどある。消費者主権の意識、経済民主主義的な見方が広範に潜在していることを示している。しかし、社会科学習を重ねても、このような見方はひろまっていけない。社会科教育のあり方が問われるところである。独占価格の問題をどう考えてよいか「わからない」者は、中高とも女子のほうに多い。バーゲン会場をめざして、なりふりかまわず殺到する母親たちの涙含ましい奮闘に、同じ道を辿るはずの娘たちはなにを感じているのだろうか。「わからない」という回答は、高校では中学よりへっている。そのへった分は、「大企業が大もうけするのは競争社会では当然」という大企業擁護論の増加になっている。生徒は、不公正と思いつつも大企業の威力に諦めを感じているともみられ、また、財界のマスコミを通ずるイデオロギー攻撃の前に、社会科教育は骨を抜かれているともみられる。いずれにしても、生徒の消費者主権の意識は、社会科教育の影響よりも、大人たちの意識・態度をほとんどそのまま反映しているといえよう。

〔35〕 日本の現在の政治について

今の政治にどのような問題を感じているのか、問うている。「国民を犠牲にしている」とか「国民の声を無視している」とか、大国の「いいなりになっている」とかいった、国民主権の形骸化を感じていて、主権の実際の行使者が官僚・財界・アメリカだと見做している回答が多く、これらを合わせると中学生の5割近く、高校生の6割近くに達している。生徒の半数は、政治の建前的な見方から一步踏み出した現実的な見方をしていると評価しうる。また、若者たちの政治不

信が、主権財界・主権官僚・主権アメリカ下の国民不在の政治を感じ取っているところから来ていることも指摘できよう。中学では2割を越えていた「わからない」という回答が、高校では1割弱にへり、この減少したうちの大部分が、上のような現実的な見方の増加になっており、また、現実的な見方は中1の4割強から高3の7割近くにふえている。国民主権の原理を基準に政治の現実を裁く見方は、年齢とともに成長しているといえよう。前問の消費者主権の意識と同様に、国民主権の意識の面でも、「わからない」という回答は女子生徒に多く、男子に比べた遅れが指摘できる。

〔36〕 マスコミについて

マスコミについて感じていることを問うている。「文化教養を高めるのに役立っている」とか「公正中立の立場に立っている」とかいった肯定的評価を与える回答は、合わせても2割に満たない。逆に、「退廃的な悪い影響」とか「欲望をかりたてたり、それを利用する」とかいった否定的な評価が、中学で3割強、高校で4割強もある。高校では、中学の「わからない」という回答がへった分だけ否定的評価がふえている。マスコミの商業主義の異常さに気付く生徒の感覚は、まだ麻痺していないし、年齢の高まりとともに見抜く力も育っている。欲望をかりたてるだけでなく、「社会の現状を維持する役割をはたす」という回答は、相対的に多い。この生徒たちは、中立公正の建前が崩れていると感じているだけでなく、マスコミが方向性をもっていることを感じ取っている。その中には、革新を抑え、保守に方向づけるという、企業や権力によるマスコミ操作の傾向性をかぎわけている者もあると考えられる。マスコミに対する単なる商業批判は、中高とも十数%にとどまって変化がない。これに比べ、マスコミのイデオロギー支配をかぎわせる潜在的な力は、協力校を例にとると、中1の12%から高3の33%へと高まっている。

〔37〕 ファシズムについて

ファシズムの時代がやってきたらどうするか、問うている。ファシズムに「抵抗する人たちになんらかの協力をしたい」という回答がもっとも多く、中高とも3割みられる。もっとも多い回答ではあるが、3割という数字は民主社会の形成者としては、心もとない様相といえよう。ファシズムが「やってくるとは考えられない」とか「国民にとって大した意味はもたない」とかいった無理解型は、中高ともそれぞれ1割ほどあり、合わせれば2割弱になる。「危険な行動はとれない」とか「抵抗はおしつぶされてしまう」とかいった諦め型は、合わせて1割強ある。「優れた人による指導」とか「社会主義よりまし」とかいったファシズム待望・肯定型も1割ある。これらの無理解型・諦め型・肯定型を合わせると、中高とも4割5分前後になる。戦後世界のファシショ化が国民の気付かぬうちに巧妙にすすめられてきた歴史を考えると、抵抗型3割に対するこの4割5分という数字は、民主主義の潜在的危機を意味しているといえないだろうか。しかも、人権学習や歴史学習が重ねられているはずなのに、中1から高3までファシズムに対する意識の変化がみられない。社会科教育において、人権学習が建前だけで済まされ、歴史的事実と結合されなかったり、歴史学習がファシズムの実態を欠落させてしまっているならば、この事態は当然の帰結ともいえよう。しかし、教育の営みにもかかわらず、その効果を無に帰してしまう民主主

義の形骸化が根強くすすめられ、保守化の風潮の中で人権意識が休眠に向っている背景を無視することはできないだろう。社会科教育の有効性が問い直されている事態といえよう。

〔38～39〕 老人福祉について

〔38〕は親の、〔39〕は自分の老後の生活保障をどうするか、問うている。親に対する場合、「自分の生活力に応じて親をやしなう」という回答がもっとも多く、約4割ある。「親と同居してやしなう」つमりの者が約3割みられる。「親自身の努力」を求めたり、「社会保障」に期待したりする者はきわめて少ない。これとは逆に、自分の場合、「自分自身の努力で生きていく」という回答がもっとも多い。それに次いで、「社会保障の充実」を期待していて、やしなってもらふ期待は少ない。親をやしなえない日本の所得水準を反映していると同時に、親を「どんなことをしてでもやしなう」気持ちは弱まっているようである。

〔40〕 働く者の権利について

働く者の権利行使にどの程度共感するか、父親の労働条件悪化に対する対応のしかたを例にして、問うている。「一時的な不利益は耐えなければならないが、会社のやり方に対する批判の気持だけは失わない」という回答がもっとも多く、中学の2割強、高校の3割強もある。理不尽だとわかっていても、不利益を黙って受け入れ、言動にあらわさない。憲法の人権感覚とはおよそかけ離れた前近代的な意識は、まだ根強く尾をひいている。しかも、この封建的な意識は高校生になるとひろまっている。争議権などの労働基本権の行使を承認する者は、2割程度であり、高校生になってもふえることはない。日本は、男女の賃金格差が世界でもっともひらいている国の一つであるにもかかわらず、女子生徒の意識の遅れがみられる。欧米先進国とはちがって、日本の社会では、まだ働く者の権利行使が犯罪視され、市民権を獲得しきっていない。社会科教育はこの面でも有効性を発揮しえていないようである。

〔41〕 日本の防衛費

日本の財政支出の中の、突出した防衛費をどう思うか、問うている。「アメリカのいいなりになって、国民を犠牲にするような支出のしかたはよくないから、軍備拡張を約束した安保条約をなくした方がよい」という回答がもっとも多く、中学の2割強、高校の3割強ある。平和憲法の問題はここに生き続けているといえるし、学習による成果を確かめることもできないわけではない。しかし、「日本の防衛費増強は世界の軍事対立を激化させることはない」とか「西側の一員として防衛費の分担をすべし」とか「輸送ラインを守るため」とか「他国なみの防衛費」とかいった、防衛費増強肯定論は一つ一つでは1割に満たないにしても、それらを合わせると中高とも3割になる。どう考えてよいか「わからない者」は、中学の2割5分から高校の1割5分にへるが、これらの「わからない」者が防衛費増強に抵抗できないと考えれば、平和憲法の問題は高校でも多数派とはいえない。軍拡は若者たちから暗黙のうちに容認されることになってしまう。防衛費増強に対する批判的な見方が高校でふえていることは、社会認識の発達に光りを投げかけているが、平和憲法を空洞化させる社会的現実は著しくすすんでおり、生徒の意識をひきずり込んでいる。社会科教育は、この面でも深刻にその存在を問われている。

(1983. 3 記)